# Panasonic

（CF-W8シリーズのイラストです。）

# 取扱説明書 通信ガイド

## パーソナルコンピューター

品番 CF-F8/CF-Y8/CF-W8/CF-T8/CF-R8シリーズ

**（Windows Vista）**

**本書は、インターネットや電子メールを使うための接続・設定、および操作の方法について説明しています。よくお読みいただき、大切に保管してください。**

## 接続

### インターネットに接続する



## Webページ

### Internet Explorerを使う



## 電子メール

### Windows メールを使う



は画面で見るマニュアルのマークです。
この説明書は、CF-F8シリーズ、CF-Y8シリーズ、CF-W8シリーズ、CF-T8シリーズ、CF-R8シリーズ共用です。共通部分のイラストはCF-W8シリーズを使用しています。共通でない部分は、対象品番を表示しています。

- 無線LANの接続・設定について詳しくは、画面で見る『操作マニュアル』の「（無線LAN）」または『取扱説明書 無線LAN接続ガイド』をご覧ください。
- 本書では「Windows Vista® Business Service Pack 1 正規版」を「Windows Vista」、「Microsoft® Windows® XP Professional 正規版 Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」を「Windows XP」と表記します。

# インターネットに接続する

## インターネットとは

インターネットは、世界的な規模でコンピューターどうしがつながったネットワークです。ネットワークに接続することで、世界中のさまざまな情報の中から、知りたい情報を探し出したり、情報をやり取りしたりすることができます。

### 知りたい情報を手に入れる

天気やニュース、話題のお店をはじめ、無料で使える辞書や翻訳サービスなど、インターネットは情報の宝庫です。うまく利用すれば、自宅やオフィスにいながらにして、いろいろな情報が探し出せます。別途会費や利用料金を払うことで、音楽やゲーム、電子書籍などを楽しんだり、アプリケーションソフトを利用したりすることもできます。

### 予約や買い物をする

インターネットを使えば、好きなときに電車や飛行機、ホテルの空き状況を確認して予約したり、ショッピングを楽しんだりすることができます。

### コミュニケーションの場として活用する

電子メールやインスタントメッセンジャー、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）などを使って、遠くの友人や海外の人とも気軽にコミュニケーションを取ることができます。

### 情報の発信源になる

ブログや掲示板などで情報を発信したり、自分でWebページを開設したりできます。

### インターネット上のセキュリティについて

世界につながるインターネットが便利になる一方で、個人情報の流出や、掲示板などでのひぼう中傷の書き込みによるプライバシーの侵害や悪用など、さまざまなトラブルが発生しています。送信する電子メールの内容、ダウンロードするソフトウェア、オンラインショッピング業者の信用度などには十分に注意してください。

『操作マニュアル』の「（セキュリティ）」をご覧になり、Windows Updateやウイルス対策ソフトのご利用をお勧めします。

## インターネットに接続するには

インターネットに接続するには、いくつかの準備が必要です。
ここでは、一般の家庭からインターネットに接続する流れについて説明します。

### Step1 接続する回線とプロバイダーを決める

インターネットへの接続サービスを提供しているプロバイダーと、インターネットに接続するための通信回線を選びます。
通信回線によっては、契約できるプロバイダーが決められている場合があります。また、プロバイダーによって、料金体系やサービス内容も異なります。
パンフレットや雑誌などを参考に、インターネットに接続する目的や月あたりの利用時間などを考え、最適な回線とプロバイダーを選びましょう。

### Step2 回線の契約とプロバイダーへの入会手続きを行う

回線の契約とプロバイダーへの入会は、別々に申し込みをする場合と、同時に申し込みをする場合があります。申込時に十分ご確認ください。プロバイダーに入会する方法は、主に次の２通りがあります。

- **書類に必要事項を記入して申し込む**
- **オンラインサインアップで申し込む**

オンラインサインアップの途中で、インターネットの接続に必要なアカウントやパスワードなどの重要な情報が表示されます。必ずメモを取ってください。

**メモ**

- **オンラインサインアップで申し込む場合は、各プロバイダーにオンラインサインアップ用のCD-ROMや入会用の書類などを請求してください。**

### Step3 回線/機器（専用モデムなど）/本機を接続する

アナログ回線以外は、専用モデムやADSLモデム、ターミナルアダプターなどが必要です。
モデムが搭載されていないモデルの場合、アナログ回線への接続は別売りの外付けモデムが必要です。
回線への接続方法、ドライバーやユーティリティのインストール、必要な情報の設定は機器やプロバイダーによって異なりますので、プロバイダーから提供された説明書をご覧ください。

無線LANを使って接続する場合は、『操作マニュアル』「（無線LAN）」の「接続の設定をする」または『取扱説明書 無線LAN接続ガイド』をご覧ください。

### Step4 接続の設定をする

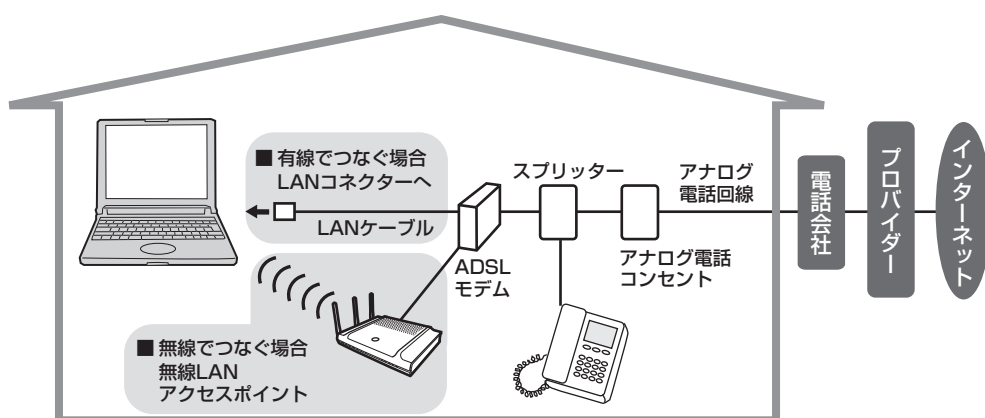
お使いの回線やプロバイダーによって設定内容は異なります。プロバイダーやブロードバンドのサービス会社から提供される説明書をご覧のうえ、設定してください。

# インターネットに接続する

## インターネットで使用する回線の種類

**ブロードバンドとは**
大量の情報を高速で送受信できるインターネット回線のことで、代表的なものとして**ADSL、光ファイバー、ケーブルテレビ**があります。ブロードバンドを利用すると、容量の大きな動画や音楽なども快適にインターネットで楽しむことができます。また、ほとんどが定額制なので、長時間利用しても通信料金を気にする必要がありません。

ケーブルや接続機器は本機に付属していません。別途、購入する必要があります（機器によってはレンタルされている場合があります）。機器の名称は、機器のメーカーにより異なる場合があります。回線工事や設置方法については、回線業者の窓口などにお問い合わせください。

## ADSLで接続する

| 特徴 | 一般電話回線を利用し、電話では使わない高い周波数でデータ通信を行います。<br>インターネット接続中でも、電話またはファクスが同時に使えます。また、インターネットを何時間利用しても、ほとんどの場合通信料金は定額です（一部、従量制の場合もあります）。<br>ご利用には、サービス対応エリア内であること、契約しているプロバイダーが対応していること、そして回線の契約と工事（NTT交換機の設定）が必要です。<br>電話の収容局からの距離によって、サービスが利用できなかったり、通信速度が異なったりします（詳しくは、ADSLサービス会社のサポート窓口にお問い合わせください）。 |
|---|---|
| 通信速度 | 一般電話回線やISDNよりも高速 |

### Step1 必要なものを準備する

#### ● 必要な手続き
- お住まいの地域がADSLサービスの対応地域であること
- ご利用のプロバイダーがADSL接続サービスに対応していること
- ADSL回線の契約と工事（NTT交換機の設定）

#### ● 必要な機器
- スプリッター（不要な場合もあります）
- ADSLモデム
- LANケーブルとモジュラーケーブル（ADSLモデムに付属していることが多い）

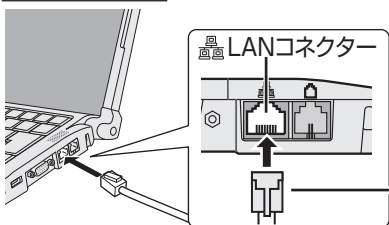
スプリッターやADSLモデムは、ADSL接続サービス申込時にレンタルすることもできます。詳しくはADSL接続サービスの提供会社にお問い合わせください。

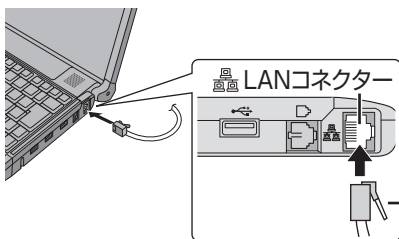
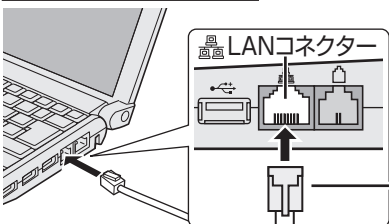
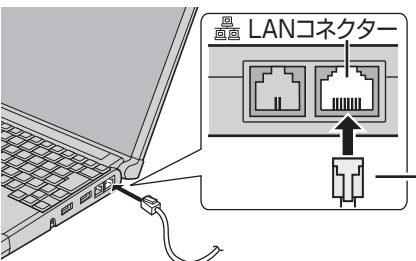
## Step2 接続の設定をする

ADSLでインターネットに接続するための一般的な設定方法について説明します。
ADSLはご利用のプロバイダーやADSL接続サービスの提供会社によって通信方式と接続の設定方法が異なります。
詳しい接続の設定は、ご利用のプロバイダーやADSL接続サービスの提供会社から支給された説明書をご覧になるか、ご利用のプロバイダーやADSL接続サービスの提供会社にお問い合わせください。

**1 LANケーブルで本機のLANコネクターとADSLモデムを接続する。**

CF-F8シリーズ

コネクターの向きと合わす

モデム搭載モデルのイラストです。

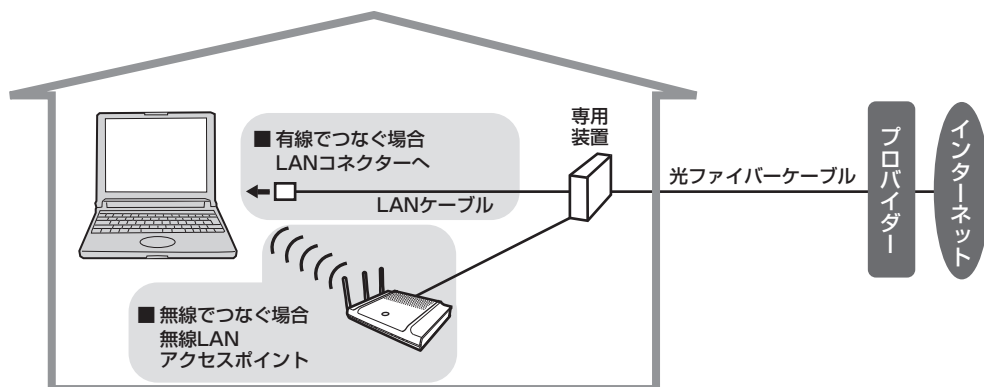
CF-Y8シリーズ

CF-W8/CF-T8シリーズ

CF-R8シリーズ

モデム搭載モデルのイラストです。

**2 (スタート)-[コントロールパネル]をクリックする。**

**3 [インターネットへの接続]をクリックする。**

以降の設定手順は、プロバイダーやADSL接続サービスの提供会社から支給された説明書をご覧ください。
詳しくは、プロバイダーやADSL接続サービスの提供会社にお問い合わせください。

# インターネットに接続する

## 光ファイバー（FTTH）で接続する

| 特徴 | 光ファイバーケーブルの中に光信号を流します。<br>ブロードバンドの中で最も高速です。インターネットを何時間利用しても、通信料金は定額です。<br>ご利用には、サービス対応エリア内であること、契約しているプロバイダーが対応していること、そして回線の契約と光ファイバーを引き込む工事が必要です。<br>マンションなどの場合、管理組合（またはマンションの所有者）の同意が必要です。<br>詳しくは、光ファイバーサービス会社のサポート窓口にお問い合わせください。 |
|---|---|
| 通信速度 | ADSLやケーブルテレビよりも高速 |

### Step1 必要なものを準備する

#### ● 必要な手続き

- お住まいの地域が光ファイバー接続サービスの対応地域であること
- ご利用のプロバイダーが光ファイバー接続に対応していること
- 光ファイバーを宅内に引き込むための工事
- プロバイダーとは別に回線業者との契約

**重 要**

**● マンションなどの集合住宅にお住まいの場合**
共用部分にインターネット接続に必要な機器を設置したり、光ファイバーを引き込むための工事をしたりするため、管理組合や所有者の同意が必要です。詳しくは、ご利用のプロバイダーや光ファイバーのサービス提供会社にお問い合わせください。

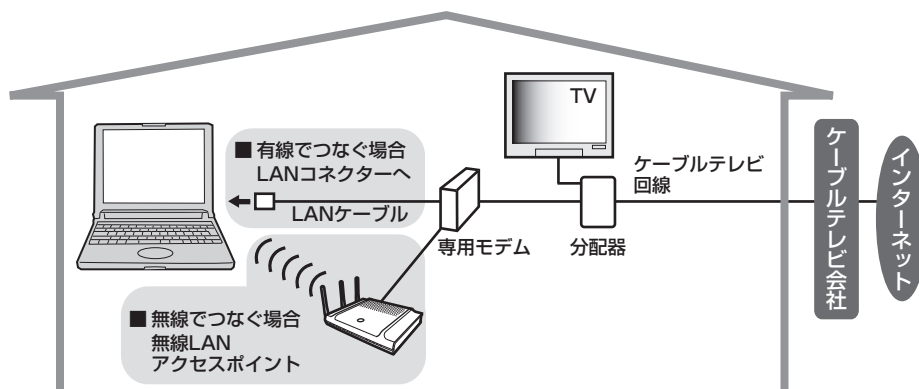
#### ● 必要な機器

- **ONU（Optical Network Unit：パソコンを光ファイバーに接続するための機器）**
  多くの場合、光ファイバーのサービス提供会社から貸与されます。マンションでの接続では、ONUを使用しない場合もあります。
- **本機とONUを接続するためのLANケーブル**

詳しくは、ご利用のプロバイダーや光ファイバーのサービス提供会社にお問い合わせください。

### Step2 接続の設定をする

一般に、光ファイバー（FTTH）の引き込み工事のときに、光ファイバーのサービス提供会社の担当者が設定から接続の確認までを行います。すでに光ファイバー（FTTH）が導入されているマンションや集合住宅にお住まいの場合は、ご利用のプロバイダーや光ファイバーのサービス提供会社から提供された説明書をご覧になるか、プロバイダーや光ファイバーのサービス提供会社にお問い合わせください。

## ケーブルテレビ（CATV）で接続する

| 特徴 | ケーブルテレビの専用回線を利用します。<br>インターネットを何時間利用しても、通信料金は定額です。<br>お住まいの地域でサービスを提供しているケーブルテレビ会社との契約と回線工事が必要です（詳しくは、お住まいの地域で加入可能なケーブルテレビ会社またはすでに加入されているケーブルテレビ会社のサポート窓口にお問い合わせください）。 |
|---|---|
| 通信速度 | 一般電話回線やISDNよりも高速 |

### Step1 必要なものを準備する

#### ● 必要な手続き

- お住まいの地域のケーブルテレビ会社がインターネット接続サービスを提供していること
- インターネット接続サービスの契約
- 回線の工事

#### ● 必要な機器

- 専用モデム
- 分配器（回線をテレビとインターネット接続用に分配する機器）
- 本機とモデムを接続するためのLANケーブル

詳しくは、お住まいの地域でサービスを提供しているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

### Step2 接続の設定をする

ケーブルテレビでのインターネット接続設定方法は、ケーブルテレビ会社によって異なります。設定は、ケーブルテレビ会社から提供された説明書をご覧になるか、ご利用のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

## ISDNで接続する

| | |
|---|---|
| 特徴 | NTTのデジタル通信網を使って、容量の大きい情報をデジタル信号でやり取りします。導入には、ISDN回線の契約と工事が必要です（サービス対応エリア内であることを確認してください）。<br>インターネット接続中でも電話またはファクスが同時に使えますが、利用時間に応じて、電話料金がかかります。<br>インターネットに接続するためのアクセスポイントが遠隔地にあると、電話料金が高くなる場合があります。 |
| 通信速度 | 一般電話回線よりも高速 |

### Step1 必要なものを準備する

**● 必要な手続き**

ISDN回線の契約と工事が必要です。詳しくは、お近くのNTTへお問い合わせください。

**● 必要な機器**

Windows Vista対応のものをご用意ください。詳しくは、周辺機器のメーカーへお問い合わせください。

- ターミナルアダプター（TA）
- DSU（ターミナルアダプターに内蔵されている場合もあります。ご購入の際にご確認ください）
- 本機とTA、回線をつなぐためのケーブル

**● パソコンとTA、DSUを接続する**

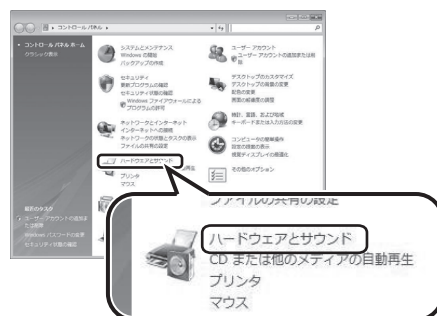
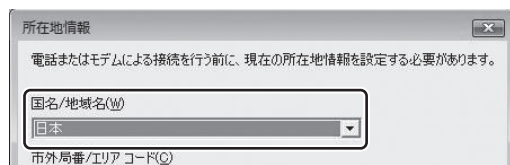
接続の手順は、お使いのTAの取扱説明書をご覧ください。

**● ドライバーのインストール**

TAを使うためのドライバーをパソコンにインストールします。インストールの手順は、お使いのTAの取扱説明書をご覧ください。

### Step2 所在地情報の設定をする

インターネットに接続する場所に合わせて、所在地情報を設定します。

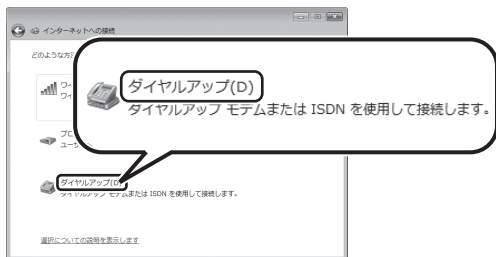
1. (スタート)-[コントロールパネル]をクリックする。
2. [ハードウェアとサウンド]をクリックする。

3. [電話とモデムのオプション]をクリックする。
4. [国名/地域名]の[▼]をクリックし、[日本]をクリックする。

5. ダイヤル発信する場所や回線に合わせて所在地情報を設定し、[OK]をクリックする。
6. [OK]をクリックする。

## Step3 接続の設定をする

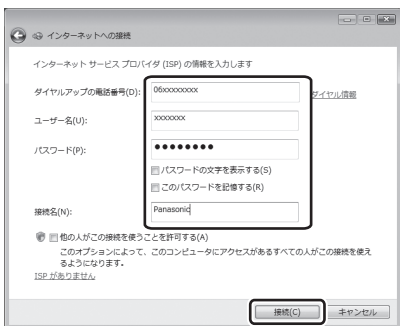
ご利用のプロバイダーから提供されたユーザー名やパスワード、インターネットに接続するための電話番号などの情報をお手元に準備してください。
設定が完了すると、自動的にインターネットに接続します。

**1** (スタート)-[コントロールパネル]をクリックする。

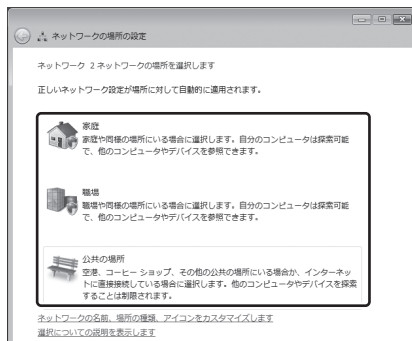
**2** [インターネットへの接続]をクリックする。

**3** [ダイヤルアップ]をクリックする。

接続に使用するデバイスを選択する画面が表示された場合は、デバイスを選択し、[次へ]をクリックしてください。

**4** [ダイヤルアップの電話番号]、[ユーザー名]、[パスワード]、[接続名]を入力し、[接続]をクリックする。

「XXXXXXに接続中」という画面が表示され、インターネットに接続します。[閉じる]をクリックしてください。

- [ダイヤルアップの電話番号]、[ユーザー名]、[パスワード]は、ご利用のプロバイダーから提供されたものを入力してください。
- [接続名]は自由に入力できます。入力した名前がダイヤルアップの接続名になります。
- [パスワードの文字を表示する]にチェックマークを付けると、パスワードの文字がボックス内に表示されます。
- [このパスワードを記憶する]にチェックマークを付けると、次回からパスワードを入力しなくても接続できます。
- [他の人がこの接続を使うことを許可する]にチェックマークを付けると、他のユーザーアカウントでログオンした人も、ここで登録した設定を使ってインターネットに接続できるようになります。

**5** 「ネットワークの場所の設定」画面が表示された場合、接続している場所に合わせて[家庭]、[職場]、[公共の場所]のいずれかをクリックする。

詳しくは、[選択についての説明を表示します]をクリックしてください。

**6** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックする。

標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して[OK]をクリックします。

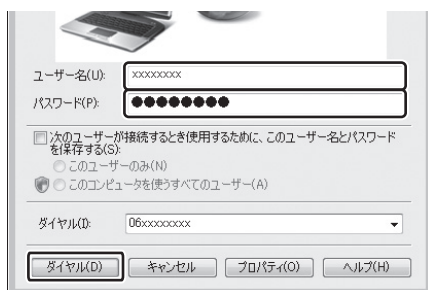
**7** [閉じる]をクリックする。

これで設定は完了です。

### Step4 回線を接続/切断する

設定完了後は、次の手順で接続/切断を行ってください。

#### ●回線に接続する

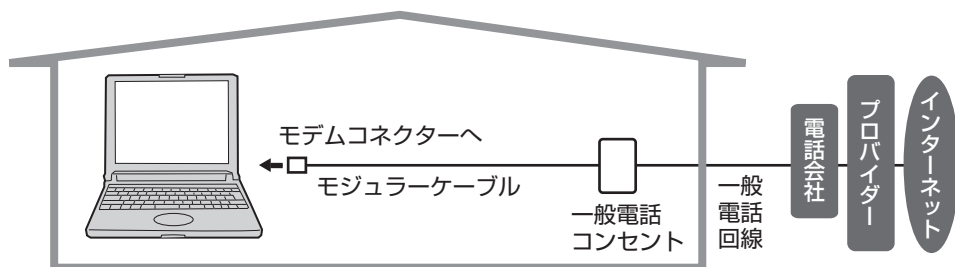
1. (スタート)-[接続先]をクリックする。
2. 接続名をクリックし、[接続]をクリックする。
3. ご利用のプロバイダーから提供されたユーザー名とパスワードを半角英数字で入力し、[ダイヤル]をクリックする。
   大文字/小文字の違いに注意してください。

4. 「正常に接続しました」という画面が表示された場合は、[閉じる]をクリックする。

#### ●回線を切断する

1. (スタート)-[接続先]をクリックする。
2. [切断]をクリックする。
3. [閉じる]をクリックする。

**メモ**

**●次の手順でも回線を切断できます。**
① 通知領域のをクリックし、[接続または切断]をクリックする。
② 「ネットワークに接続」画面で[切断]をクリックする。
③ [閉じる]をクリックする。

## 一般電話回線で接続する

| 特徴 | 一般の電話回線を利用するため、インターネット接続中は、同じ電話回線につながった電話やファクスが使えません。また、利用時間に応じて、電話料金がかかります。インターネットに接続するためのアクセスポイントが遠隔地にあると、電話料金が高くなる場合があります。 |
| --- | --- |
| 通信速度 | 低速 |

### Step1 所在地情報の設定をする

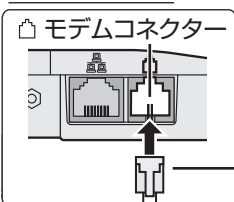
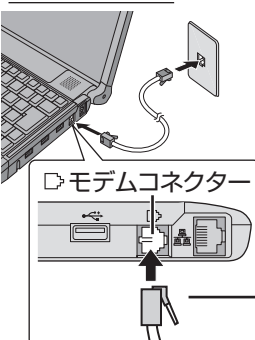
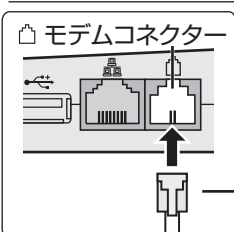
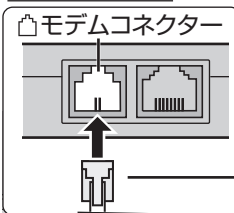
インターネットに接続する場所に合わせて、所在地情報を設定します。

**設定方法は、「ISDNで接続する」の「Step2 所在地情報の設定をする」をご覧ください。**
**(➡8ページ)**

### Step2 モジュラーケーブルを接続する

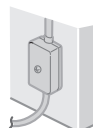
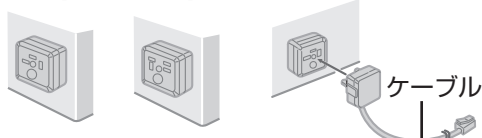
接続するコネクターがモデムコネクターであることを確認してから、奥までしっかり挿し込んでください。

**モデムが搭載されていないモデルの場合は、別売りの外付けモデムが必要です。接続/取り外しについては、外付けモデムに付属の説明書をご覧ください。**

## 1 モジュラーケーブル（市販品）の突起部をモデムコネクターの向きに合わせて挿し込む。

## 2 モジュラーケーブルのもう一方を電話コンセントに挿し込む。

電話コンセントの種類は、モジュラージャック、ローゼット、3端子（または4端子）ジャックなどがあります。電話回線とのつなぎ方は、端子の種類によって異なります。詳しくは、ご利用の電話会社へお問い合わせください。

- **モジュラージャックの場合**
  モジュラーケーブルをそのままつなぎます。
- **ローゼットの場合**
  最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。資格のない方が工事をすることは認められていません。

- **3端子（または4端子）ジャックの場合**
  最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。または、一方がモジュラープラグで他方が3端子（または4端子）プラグのケーブル（市販品）を用意し、図のようにつなぎます。資格のない方が工事をすることは認められていません。

本機のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要になる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日から、「機器使用料」は不要になります。

### ● モジュラーケーブルを取り外すとき

突起部を押さえながら引き抜いてください。

## インターネットに接続する

### Step3 接続の設定をする

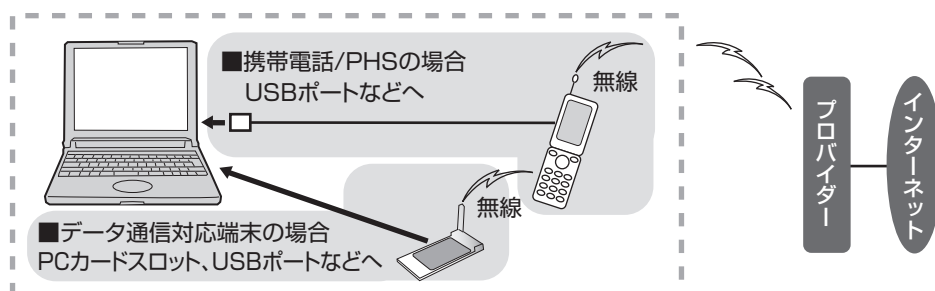
設定方法は、「ISDNで接続する」の「Step3 接続の設定をする」をご覧ください。(➡9ページ)

### Step4 回線を接続/切断する

手順は、「ISDNで接続する」の「Step4 回線を接続/切断する」をご覧ください。
(➡10ページ)

### モデムリングリジューム機能について

**モデム搭載モデルのみの機能です。**
内蔵モデムに接続した回線に電話がかかってきたときに、スリープ状態のパソコンをリジュームさせることができます。不在時のファクス自動受信などを活用する際に便利です。
詳しくは『操作マニュアル』「(インターネット)」の「電話回線で接続する」をご覧ください。

## 携帯電話/PHS/データ通信対応端末で接続する

| 特徴 | 携帯電話やPHSなどを利用し、屋外でもインターネットを利用できます。<br>インターネット接続中に、電話の発着信はできません。また、インターネットの接続時間や通信量に応じて、電話料金や通信料金がかかります(契約内容によって料金の設定が異なります)。詳しくは、ご利用の携帯電話会社へお問い合わせください。 |
|---|---|
| 通信速度 | 使用する端末によって異なります。 |

### Step1 必要なものを準備する

- 携帯電話/PHS/Windows Vista対応のデータ通信対応端末
- ケーブル(携帯電話/PHSで接続する場合)
- ドライバーのインストール

ご利用のプロバイダーが携帯電話などからのインターネット接続に対応していることが必要です。
詳しくは、ご利用のプロバイダーにお問い合わせください。

### Step2 所在地情報の設定をする

設定方法は、「ISDNで接続する」の「Step2 所在地情報の設定をする」をご覧ください。
(➡8ページ)

### Step3 接続の設定をする

設定方法は、「ISDNで接続する」の「Step3 接続の設定をする」をご覧ください。(➡9ページ)

### Step4 回線を接続/切断する

手順は、「ISDNで接続する」の「Step4 回線を接続/切断する」をご覧ください。
(➡10ページ)

## 無線LANで接続する

無線LANを使うと、ケーブル不要でネットワークが利用できます。
無線LANアクセスポイントまたは無線LAN対応のブロードバンドルーター（以降、無線LANアクセスポイントと表記）が電波の届く範囲内にあれば、離れた場所からでも本機でWebページの閲覧やメールのチェックができます。

### 無線LANの接続方法

無線LANで接続するには、無線LANアクセスポイントを使うか、FREESPOTなどの無線LAN接続サービスと契約する必要があります。また、FREESPOTなどと契約した場合も、無線LAN接続に対応している場所で利用する必要があります。

操作手順については、『操作マニュアル』「（無線LAN）」の「接続の設定をする」または『取扱説明書 無線LAN接続ガイド』をご覧ください。

## 移動先や外出先（ホテルなど）で接続する

普段インターネットに接続している場所とは違う場所で接続するには、インターネット接続の設定を変更する必要があります。

### 外出前に

外出先でインターネットに接続するためには、外出先の接続方法に合わせて、ネットワークの設定を変更する必要があります。そのため、接続場所が変わるたびにネットワークの設定を変更しなければなりません。
外出先で接続する前にネットセレクター２を使ってあらかじめ自宅や職場などのネットワークの設定を登録しておくと、接続する場所に合わせて、接続の設定を簡単に切り替えることができます。

ネットセレクター２の詳しい使い方については、（スタート）-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[ネットセレクター 2]-[ネットセレクター2について]をクリックして、『ネットセレクター２の使い方』をご覧ください。

### ホテルで接続する場合

ホテルによっては、宿泊している部屋からインターネットに接続することができます。必要な機器や料金などはホテルによって異なります。詳しくは、宿泊するホテルにお問い合わせください。

- **電話回線で接続する場合**
  モジュラーケーブルが必要になります。
  モデムが搭載されていないモデルの場合は、別売りの外付けモデムも必要になります。
- **有線LANで接続する場合**
  LANケーブルが必要になります。

# Internet Explorerを使う

ブラウザー（Internet Explorer）を使って、Webページにアクセスしてみましょう。操作中いくつかの警告メッセージが表示された場合は、メッセージの内容をご確認のうえ、操作してください。

## Internet Explorerとは

Internet Explorerとは、Windowsに標準で用意されている、Webページを閲覧するためのアプリケーションソフトです。Internet Explorerでは、複数のWebページを1つのウィンドウで表示できる「タブ ブラウズ」や、よく見るWebページを登録する「お気に入り」、Webページの更新情報を自動的に取得する「RSSフィード」などの機能が用意されています。

**A.クイック タブ**
複数のWebページを表示している場合、それぞれのWebページの縮小画像を1つのページに一覧で表示します。

**B.アドレスバー**
表示しているWebページのURL（Webページの住所）が表示されます。ここへURLを入力することで、Webページを表示することができます。

**C.タブ**
表示しているWebページのタイトルが表示されます。タイトルをクリックすると、クリックしたWebページに切り替わります。

**D.ホーム**
Internet Explorerを起動したときに表示されるWebページを表示します。

**E.フィード**
表示しているWebページにRSS（Webページの更新情報をまとめたもので、Webページが更新されたときに更新情報を自動的に取得する機能）が設定されている場合、RSSフィードを表示します。設定されていない場合は、グレーで表示されます。

**F.印刷**
表示しているWebページを印刷します。印刷するには、プリンター（別売り）が必要です。

**G.ページ**
Internet Explorerのメニューを表示します。表示しているWebページの保存や表示の拡大、文字サイズの変更などができます。

**H.ツール**
Internet Explorerの各種設定を変更できます。

**I. 検索ボックス**
キーワードを入力して[Enter]を押すと、入力したキーワードに関連するWebページを検索して一覧で表示します。

**J.戻る/進む**
前に表示していたWebページへ戻ったり進んだりすることができます。操作できない場合はグレーで表示されます。

**K.お気に入りセンター**
「お気に入り」に登録されているWebページが一覧で表示されます。また、過去に閲覧したWebページの履歴や、登録したRSSフィードも表示されます。

**L.お気に入りに追加**
よく見るWebページや、次回も定期的に見たいWebページを「お気に入り」として登録したり、登録したWebページを整理したりすることができます。

**メモ**

- **[Ctrl]を押しながらWebページのリンクをクリックすると、リンク先のWebページが新しいタブで表示されます。**
- **メニューバーを表示するには、[Alt]を押してください。一時的にメニューバーが表示されます。常に表示したい場合は、[ツール]-[メニューバー]をクリックしてください。**

# Webページを見る

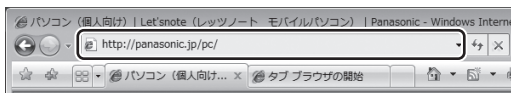
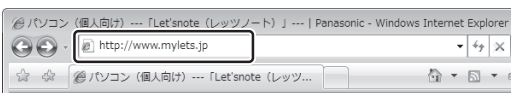
## インターネットに接続する

**1** (スタート)-[インターネット]をクリックする。
Internet Explorerが起動します。

**2** ダイヤルアップ接続の画面が表示された場合は、[接続]をクリックする。

### ●URLを入力する

http://panasonic.jp/やhttp://www.mylets.jp/など、インターネットにおけるWebページの住所をURLといいます。雑誌や広告などで見つけたURLを入力し、Webページを見てみましょう。

**1** アドレスバーをクリックする。

**2** 半角英数字で、見たいWebページのURLを入力する。

**3** Enterを押す。
Webページが表示されます。

**メモ**

- ●Webページを表示したときにスパイウェア対策ソフトの「Windows Defender」が働いて、Webページが正常に表示されない場合があります。画面の指示をよく読み、設定してください。

### ●検索で探す

URLがわからない場合でも、検索を使えばキーワードに関連したWebページを見つけることができます。

**1** [検索ボックス]をクリックする。

**2** キーワードを入力して、Enterを押す。

入力したキーワードに関連するWebページの一覧が表示されます。

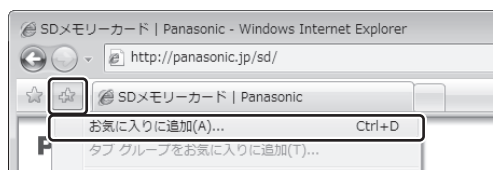
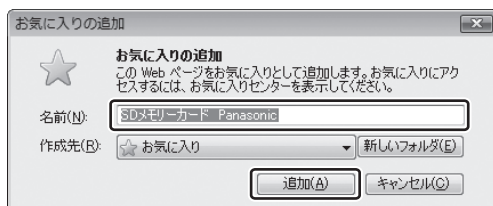
**3** 一覧から見たいWebページをクリックする。

## よく見るWebページを登録する

定期的に見たいWebページが見つかったら、Internet Explorerの「お気に入り」に登録しておきましょう。
毎回URLを入力したり検索したりする手間が省けます。

### ●「お気に入り」に登録する

**1** 登録するWebページを表示する。

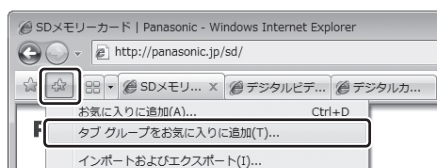
**2** (お気に入りに追加)-[お気に入りに追加]をクリックする。

**3** 名前を入力し、[追加]をクリックする。

## ●複数のWebページをまとめて「お気に入り」に登録する

複数のWebページを1つのフォルダーにまとめて「お気に入り」として登録することができます。

**1** Webページのリンク上で右クリックし、[リンクを新しいタブで開く]をクリックする。

Webページがタブで表示されます。

**2** 手順1を繰り返し、登録したい複数のWebページを表示する。

**3** (お気に入りに追加)-[タブグループをお気に入りに追加]をクリックする。

**4** [タブグループ名]にフォルダー名を入力し、[追加]をクリックする。

タブで表示していたすべてのWebページが、フォルダーの中に登録されます。

## ●「お気に入り」を整理する

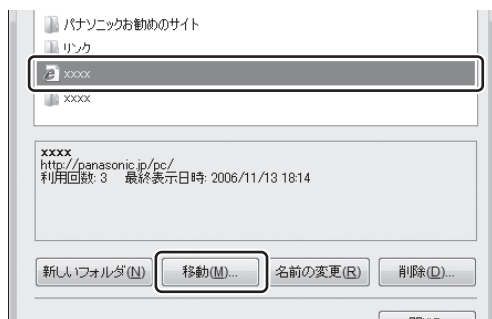
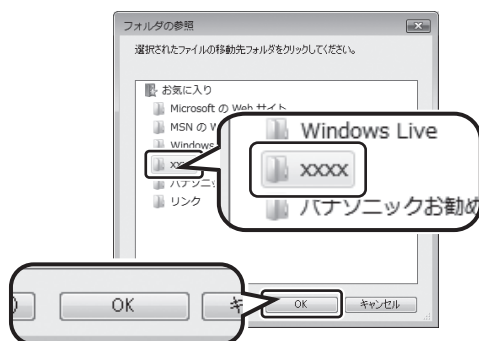
登録したWebページの数が増えてきたら、カテゴリー別にフォルダーを作り、整理しましょう。

**1** (お気に入りに追加)-[お気に入りの整理]をクリックする。

**2** [新しいフォルダ]をクリックする。

**3** フォルダー名を入力し、Enterを押す。

フォルダー名は自由に入力できます。

**4** 移動させたいWebページをクリックし、[移動]をクリックする。

**5** 移動先のフォルダーをクリックし、[OK]をクリックする。

**6** 同じフォルダーに移動したいWebページがある場合は、手順4～5を繰り返す。

**7** 他にも整理したいWebページがある場合は、手順2～5を繰り返す。

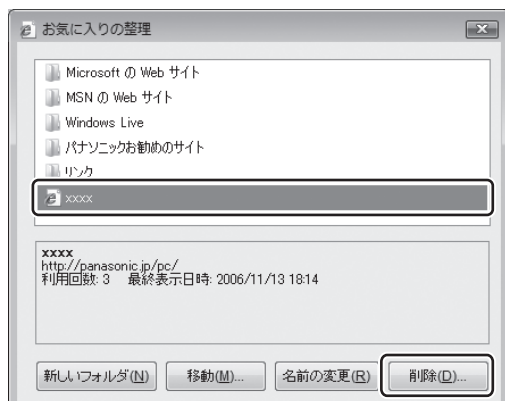
**8** [閉じる]をクリックする。

これで、「お気に入り」の整理は完了です。

### ●「お気に入り」から削除する

見なくなったWebページは、「お気に入り」から削除することもできます。

1. （お気に入りに追加）-[お気に入りの整理]をクリックする。

2. 削除したいWebページをクリックし、[削除]をクリックする。

3. [はい]をクリックする。

4. 他にも削除したいWebページがある場合は、手順2～3を繰り返す。

5. [閉じる]をクリックする。

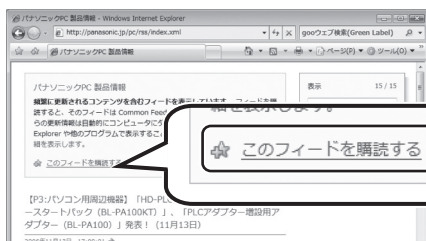
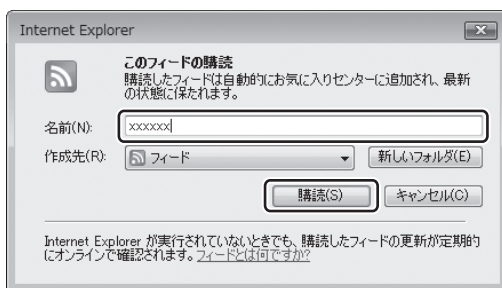
## RSSフィードの使い方

RSSとは、Webページの更新情報をまとめたもので、WebページのURL、タイトル、要約、更新時刻などが記述されています。
RSSが設定されているWebページを「フィード」を使って登録しておくと、Webページの更新された内容を自動的に取得できます。

### ● フィードを登録する

RSSが提供されている場合は、が表示されます。提供されていないWebページではがグレーで表示され、登録できません。

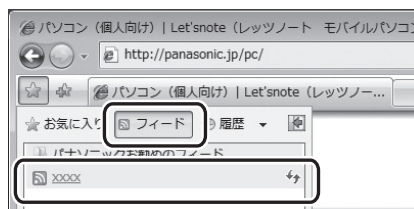
**1** （このページのフィードの表示）をクリックする。

**2** [このフィードを購読する]をクリックする。

**3** 名前を入力し、[購読]をクリックする。

- 名前は自由に入力できます。
- [作成先]の[▼]をクリックすると、フィードを保存するフォルダーを選択できます。
- [新しいフォルダ]をクリックすると、[新しいフォルダ]画面が表示されます。[フォルダ名]を入力し、[作成]をクリックすると、フォルダーが作成されます。

### ● 登録したフィードを表示する

**1** （お気に入りセンター）をクリックする。

**2** [フィード]をクリックし、表示させたいフィードをクリックする。

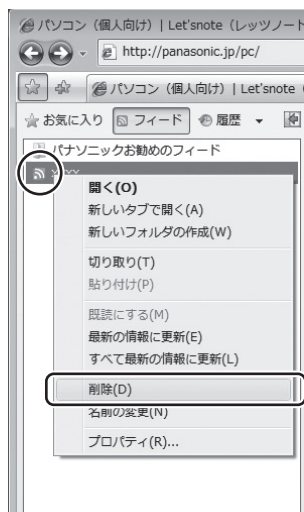
フィードが表示されます。フィードにはWebページの更新情報が一覧で表示されます。

### ● 登録したフィードを削除する

**1** （お気に入りセンター）をクリックする。

**2** [フィード]をクリックする。

**3** 削除したいフィードを右クリックし、[削除]をクリックする。

**4** [はい]をクリックする。

**メモ**

- **Webページによっては、Atomという方式のフィードを提供している場合があります。**
Internet Explorerでは、AtomもRSSと同様に扱うことができます。

## Internet Explorerを終了する

**1** Internet Explorerの[×]をクリックする。

**メモ**

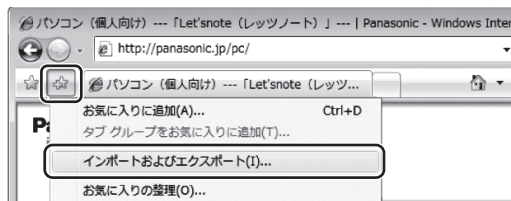
- 「すべてのタブを閉じますか？」という画面が表示された場合は、[タブを閉じる]をクリックしてください。
- 電話回線やISDN、携帯電話などで接続している場合は、次の手順で回線を切断してください。
  ① (スタート)-[接続先]をクリックする。
  ② [切断]をクリックする。
  ③ 通知領域にが表示されていることを確認する。

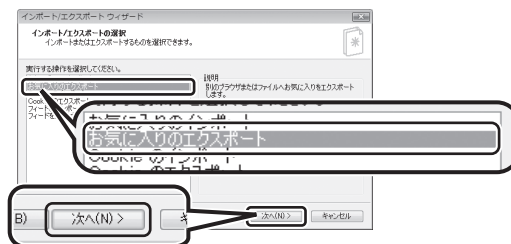
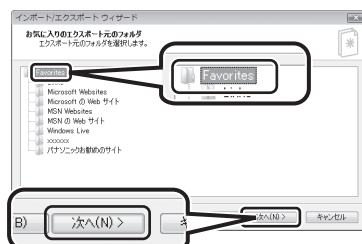
## お気に入りをバックアップ/復元する

再インストール(リカバリー)を行うと、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。Internet Explorerのお気に入りのバックアップを取っておくと、再インストールしても、お気に入りの内容を再インストール前の状態に戻すことができます。
また、Windows XPで使用していたInternet Explorerのお気に入りを復元することができます。

### お気に入りをバックアップする

**1** (スタート)-[インターネット]をクリックする。

**2** (お気に入りに追加)-[インポートおよびエクスポート]をクリックする。

**3** [次へ]をクリックする。

**4** [お気に入りのエクスポート]をクリックし、[次へ]をクリックする。

**5** [Favorites]をクリックして選択し、[次へ]をクリックする。

6 [参照]をクリックする。

7 [フォルダの参照]が表示されている場合は、[フォルダの参照]をクリックする。

8 お気に入りのデータを保存したいフォルダーをクリックし、[開く]をクリックする。

保存したいフォルダーが見つからない場合は：
①画面左側の[フォルダ]をクリックする。
②[コンピュータ]をクリックする。
・[コンピュータ]が表示されない場合は、画面をスクロールしてください。
③[検索ボックス]にフォルダー名を入力する。
画面中央にフォルダーが表示されます。

9 [保存]をクリックする。

10 [次へ]をクリックする。

11 [完了]をクリックする。

12 [OK]をクリックする。

13 手順8で選択したフォルダーを、SD/SDHCメモリーカードなどにコピーする。
データの容量に合った外部メディアにコピーしてください。
これで設定は完了です。

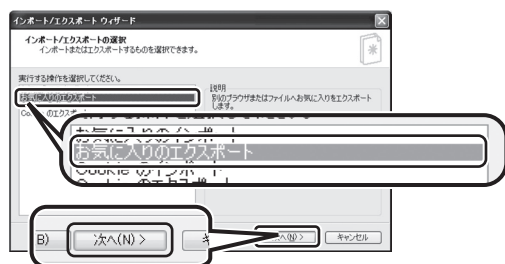
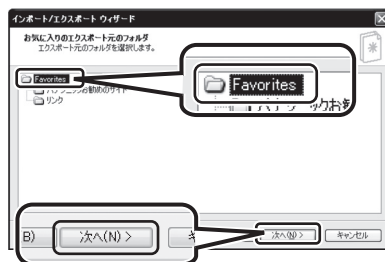
## ● Windows XPのInternet Explorerのお気に入りをバックアップするには

Windows XPで次の操作を行ってください。

1 デスクトップの（Internet Explorer）をダブルクリックする。

2 [ファイル]-[インポートおよびエクスポート]をクリックする。

3 [次へ]をクリックする。

4 [お気に入りのエクスポート]をクリックし、[次へ]をクリックする。

5 [Favorites]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。

6 [参照]をクリックする。

7 バックアップファイルの保存先としてSDメモリーカードなどを指定し[保存]をクリックする。
bookmarkファイルが作成されます。

8 [次へ]をクリックする。

9 [完了]をクリックする。

10 [OK]をクリックする。
これで設定は完了です。

## お気に入りを復元する

同じ手順で、Windows XPで使用していたInternet Explorerのお気に入りを復元することができます。

**1** (スタート)-[インターネット]をクリックする。

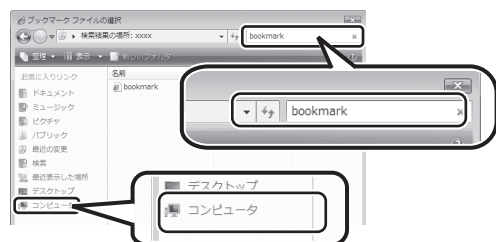
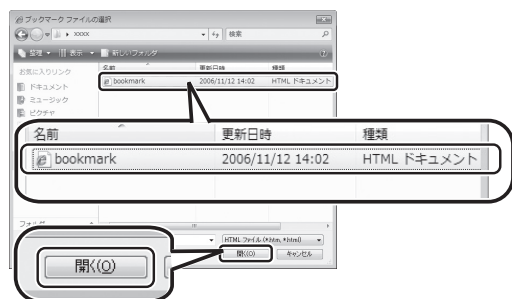
**2** (お気に入りに追加)-[インポートおよびエクスポート]をクリックする。

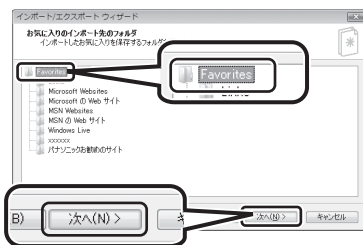
**3** [次へ]をクリックする。

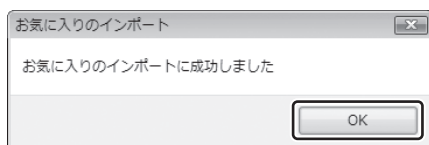
**4** [お気に入りのインポート]をクリックし、[次へ]をクリックする。

**5** [参照]をクリックする。

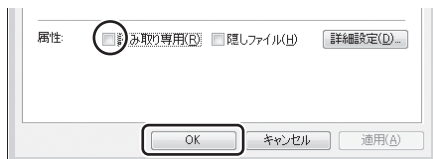
**6** bookmarkファイルを保存しているフォルダーをクリックし、[開く]をクリックする。

bookmarkファイルを保存したフォルダーやbookmarkファイルが見つからない場合は、[コンピュータ]をクリックして、[検索ボックス]に[bookmark]と入力してください。
画面中央にbookmarkファイルが表示されます。

**7** [bookmark]をクリックし、[開く]をクリックする。

**8** [次へ]をクリックする。

**9** [Favorites]をクリックし、[次へ]をクリックする。

**10** [完了]をクリックする。

**11** [OK]をクリックする。

これで設定は完了です。

**メモ**

● **CD/DVDなどにバックアップを取っている場合は次の操作を行ってください。**
①CD/DVDにバックアップしたファイルを、本機のハードディスクにコピーする。
②バックアップしたファイルを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。
③[読み取り専用]をクリックしてチェックマークを外し、[OK]をクリックする。

## 接続の設定を切り替える

ネットワークの接続先や接続方法が変わると、そのたびにWindows上で接続の設定を切り替える必要がありますが、ネットセレクター２にネットワークの設定を登録しておくと、接続するネットワークに合わせてIPアドレスや使用するプリンターを切り替えることができます。

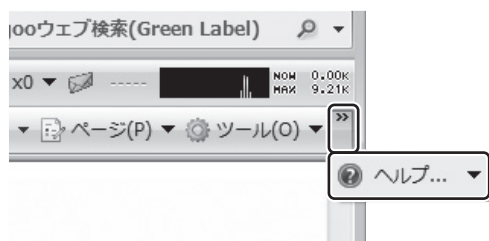
自宅や会社、出張先など、いろいろな場所に本機を持ち運び、複数の接続環境で使う方にお勧めです。

### 『ネットセレクター２の使い方』を見る

（スタート）-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[ネットセレクター２]-[ネットセレクター２について]をクリックして、『ネットセレクター２の使い方』をご覧ください。

## Internet Explorerのヘルプを見る

Internet Explorerの詳しい使い方については、Internet Explorerのヘルプをご覧ください。

1. （スタート）-[インターネット]をクリックする。
2. 画面上のをクリックし、[ヘルプ]をクリックする。

3. [目次とキーワード]をクリックする。
4. 見たい項目をクリックする。
   [検索ボックス]に見たい内容のキーワードを入力しEnterを押すと、項目を検索することもできます。

# Windows メールを使う

Microsoft® Officeをインストールしている場合は、Microsoft® Office Outlook®が標準のメールソフトになります。ここでの説明とは異なります。

## Windows メールの設定をする

Windows Vistaには、Windows XPに組み込まれていたOutlook Express 6に代わり、Windows メールというメールソフトが標準で用意されています。迷惑メールやフィッシング（ID、パスワードなどの個人情報を盗もうとする詐欺）メールを自動的に識別するメールフィルターなどの機能があります。

ここでは、電子メール（以降メールと表記）を使うためにWindows メールの設定を行います。

### Step 1 Windows メールの初期設定をする

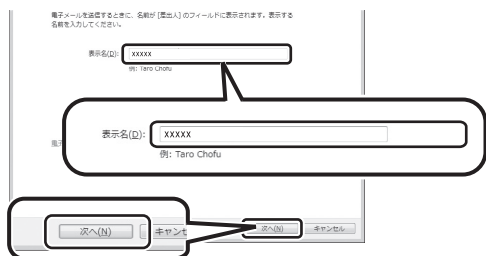
**メモ**

● **メールを使うには、メールアカウントとパスワード（メール用）の設定が必要です。プロバイダーとの契約が済んでいない場合やインターネットへ接続していない場合は、「インターネットに接続するには」（➡3ページ）をご覧になり、プロバイダーとの契約や接続の設定を行ってください。**

- オンラインサインアップでプロバイダーへの入会申し込みをした場合、入会手続き後、メールが使用できるようになるまでに数時間かかる場合があります。

**1** **（スタート）-[電子メール]をクリックする。**

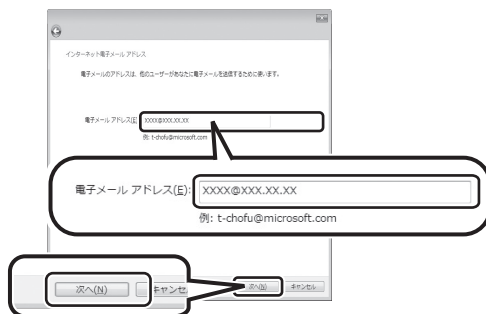
**2** **[表示名]を入力し、[次へ]をクリックする。**

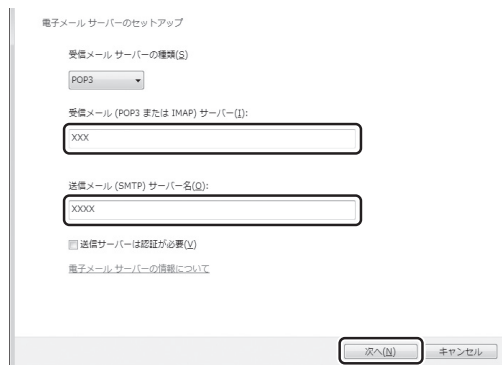
ここで入力された名前が、メールの差出人として表示されます。
[表示名]は自由に入力することができます（日本語での入力も可能です）。

[表示名]の入力画面が表示されない場合は、次の手順を行ってください。

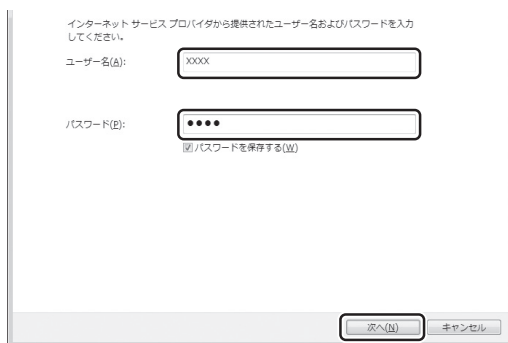
①[ツール]-[アカウント]をクリックする。
②[追加]をクリックする。
③[電子メールアカウント]をクリックし、[次へ]をクリックする。

[表示名]の入力画面が表示されます。

**3** **メールアドレスを半角英数字で入力し、[次へ]をクリックする。**

メールアドレスは、ご利用のプロバイダーから提供されたメールアドレスを入力してください（xxxx@xxx.xx.xxなどの文字列です）。

**4** **受信メールサーバーの種類を設定し、受信メール/送信メールのサーバー名をそれぞれ半角英数字で入力して[次へ]をクリックする。**

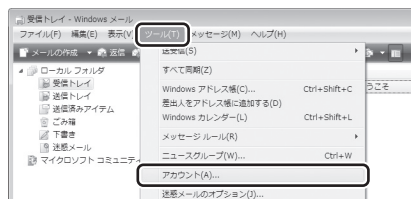
サーバーの種類やサーバー名は、プロバイダーから提供された書類などに記載されています。プロバイダーによっては、受信メール/送信メールのサーバー名が同じ場合があります。
詳しくは、ご利用のプロバイダーにお問い合わせください。

**5** [ユーザー名]と[パスワード]に、プロバイダーから連絡されたユーザー名とパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

- ユーザー名は、電子メールを送受信するための名前で、アカウント名と呼ばれることもあります。
- プロバイダーによっては、ユーザー名とパスワードが同じ場合があります。わからない場合は、ご利用のプロバイダーにお問い合わせください。

**6** [完了]をクリックする。

[完了]をクリックすると、電子メールが届いているかどうか自動的にチェックします。メールの受信を後で行う場合は、[今は電子メールをダウンロードしない]をクリックし、チェックマークを付けてください。
「オンラインに切り替えますか？」という画面が表示された場合は、[いいえ]をクリックします。

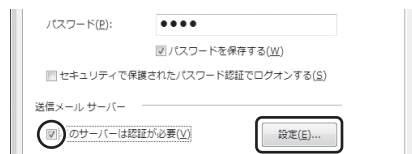
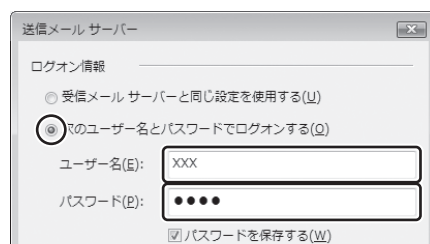
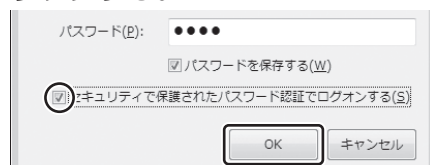
これで設定は完了です。

## ● 電子メールを送信するときもユーザー名とパスワードが必要な場合

第三者によるメールサーバーの不正利用を防ぐため、プロバイダーによってはメールの送信時にユーザー名とパスワードの入力が必要になる場合があります。その場合は、次の手順で設定してください。
送信時にユーザー名やパスワードが必要かどうかは、ご利用のプロバイダーにお問い合わせください。

**1** [ツール]-[アカウント]をクリックする。

**2** [既定]と表示されているメールのアカウントをクリックし、[プロパティ]をクリックする。

**3** [サーバー]をクリックする。

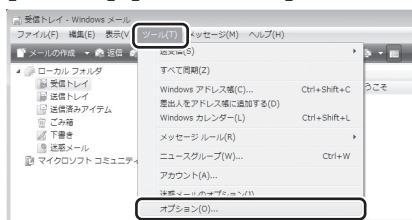
**4** [このサーバーは認証が必要]をクリックしてチェックマークを付け、[設定]をクリックする。

**5** [次のユーザー名とパスワードでログオンする]をクリックし、[ユーザー名]と[パスワード]に電子メールを送信するためのユーザー名とパスワードを入力する。

**6** [セキュリティで保護されたパスワード認証でログオンする]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

**7** [OK]をクリックする。

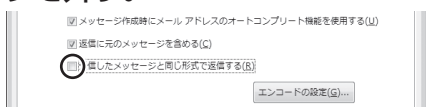
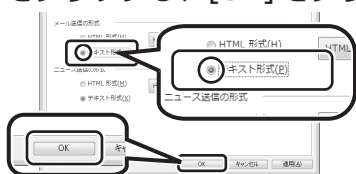
**8** [閉じる]をクリックする。

これで設定は完了です。

## Step2 作成するメールの形式を設定する

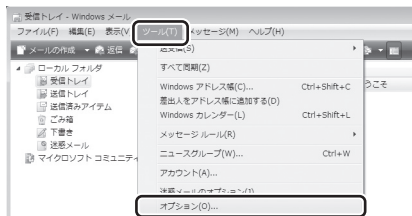
HTML形式のメールには文字に色を付けたりサイズを変更したりできますが、ウイルスに悪用されることが多く、受信者にあまり好まれません。中にはHTML形式のメールを表示できないメールソフトもあります。普段メールを送る場合は、テキスト形式に設定しておくことをお勧めします。

**1** [ツール]-[オプション]をクリックする。

**2** [送信]をクリックする。

**3** [受信したメッセージと同じ形式で返信する]をクリックしてチェックマークを外す。

**4** [メール送信の形式]の[テキスト形式]をクリックし、[OK]をクリックする。

これで設定は完了です。

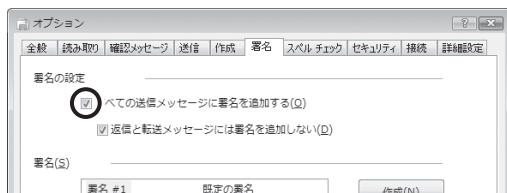
## Step3 署名を作成する

誰が書いたメールなのかすぐにわかるように、メールの本文には差出人の名前やメールアドレスなど（署名といいます）を記載するのが一般的です。署名を設定しておくと、メールの末尾に署名を自動で挿入することができます。

**1** [ツール]-[オプション]をクリックする。

**2** [署名]-[作成]をクリックする。

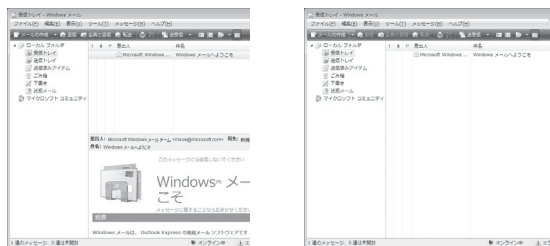
**3** [テキスト]をクリックし、署名として表示する内容を入力する。

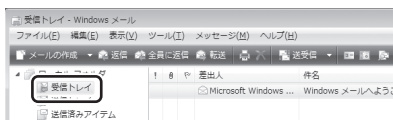
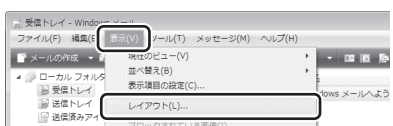
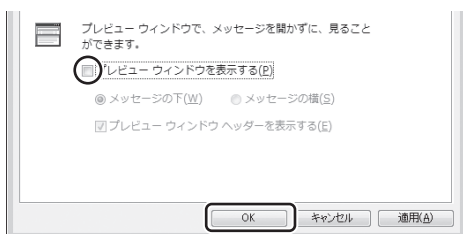
- メールを仕事で使う場合は、氏名やメールアドレスの他に、会社名や所属部署、電話番号などを書いておくのが一般的です。
- プライベートで使う場合は、個人情報の保護という点から、名前とメールアドレスだけにしておくことをお勧めします。

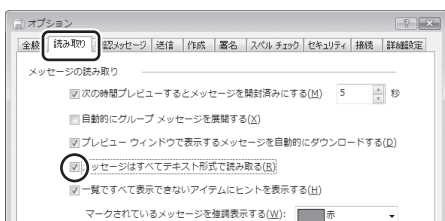
**4** [すべての送信メッセージに署名を追加する]をクリックしてチェックマークを付ける。

**5** [OK]をクリックする。
これで設定は完了です。

## Step4 プレビュー機能をオフにする

コンピューターウイルスが添付されていたり、悪意のあるプログラムが仕込まれていたりするメールの中には、本文を表示しただけで感染してしまう悪質なものがあります。
感染を防ぐためにプレビュー機能をオフにし、テキスト形式で表示することをお勧めします。

- **プレビュー機能オン**
- **プレビュー機能オフ**

● 設定方法

**1** [受信トレイ]をクリックする。

**2** [表示]-[レイアウト]をクリックする。

**3** [プレビューウィンドウを表示する]をクリックしてチェックマークを外し、[OK]をクリックする。

**4** [ツール]-[オプション]をクリックする。

**5** [読み取り]をクリックし、[メッセージはすべてテキスト形式で読み取る]をクリックしてチェックマークを付ける。

**6** [OK]をクリックする。
これで設定は完了です。

以降、メールを読む場合は、メールの一覧から読むメールをダブルクリックしてください。

## Outlook Express 6のメールを取り込む

Windows XPで使用していたOutlook Express 6のメールとアドレス帳をWindowsメールに取り込むことができます。

**メモ**

● CD/DVDなどにバックアップを取っている場合は、[読み取り専用]のチェックマークを外してください。(➡21ページ)

### Outlook Express 6のメールを取り込む

「Step1 Windows メールの初期設定をする」(➡23ページ)で設定を行ってから、Outlook Express 6のデータを取り込んでください。

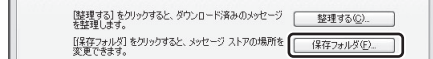
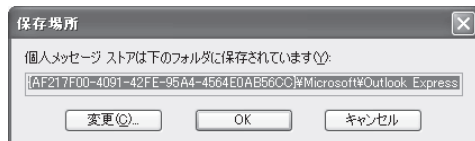
● Windows XP で、Outlook Express 6のデータをバックアップする

バックアップは、Windows XPのパソコンで行います。

**1** [スタート]-[すべてのプログラム]-[Outlook Express]をクリックする。

**2** [ツール]-[オプション]をクリックする。

**3** [メンテナンス]をクリックする。

**4** [保存フォルダ]をクリックする。

**5** 「保存場所」画面でTabを2回押してフォルダー名(例 C:¥Documents and Settings...)を選び、Ctrl+Cを押してコピーしてから[OK]をクリックする。

**6** 「オプション」画面で[OK]をクリックする。

**7** [スタート]-[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

**8** 「ファイル名を指定して実行」画面で Ctrl + V を押す。

**9** 手順5でコピーしたフォルダー名が表示されていることを確認し、[OK]をクリックする。

フォルダーの画面が表示されます。

**10** をクリックし、表示されるフォルダー一覧から「Outlook Express」フォルダーをSDメモリーカードなどにコピーする。

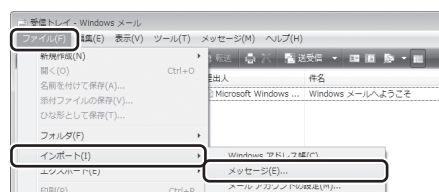
データの容量に合った外部メディアにコピーしてください。

## ● バックアップしたメールを取り込む

Windows XPのパソコンでバックアップしたメールを本機のWindows メールに取り込みます。

**1** バックアップしたメールが保存されているSDメモリーカードなどを本機に接続する。

**2** (スタート) -[電子メール]をクリックする。

**3** [ファイル]-[インポート]-[メッセージ]をクリックする。

**4** [Microsoft Outlook Express 6]をクリックし、[次へ]をクリックする。

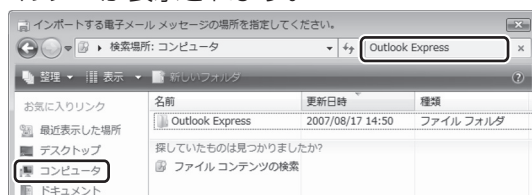
**5** [Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする]をクリックし、[OK]をクリックする。

**6** [参照]をクリックする。

**7** バックアップしたOutlook Expressフォルダーをクリックし、[フォルダの選択]をクリックする。

**メ モ**

**●「Outlook Express」フォルダーが見つからない場合**

[コンピュータ]をクリックして、検索ボックスに[Outlook Express]と入力してください。画面中央に「Outlook Express」フォルダーが表示されます。

**8** [次へ]をクリックする。

**9** [すべてのフォルダ]または[選択されたフォルダ]をクリックし、[次へ]をクリックする。

- **[すべてのフォルダ]**
  バックアップしておいたメールをすべてWindowsメールで使用します。
- **[選択されたフォルダ]**
  Windowsメールで使用したいメールを手動で選択します。
  Windowsメールに移したいバックアップデータのフォルダーをクリックし、選択してください。Ctrlを押しながらクリックすると、複数のフォルダーを選択できます。

**10** [完了]をクリックする。

これでメールの復元は完了です。

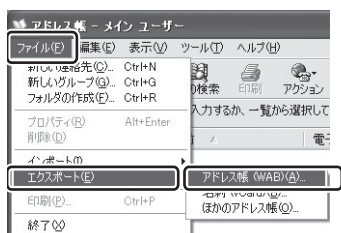
## Outlook Express 6のアドレス帳を取り込む

### ●Windows XP でOutlook Express 6のアドレス帳をバックアップする

バックアップは、Windows XPのパソコンで行います。

1 [スタート]-[すべてのプログラム]-[Outlook Express]をクリックする。

2 [ツール]-[アドレス帳]をクリックする。

3 [ファイル]-[エクスポート]-[アドレス帳(WAB)]をクリックする。

4 バックアップファイルの保存先をSDメモリーカードなどに指定し、ファイル名(例:123)を入力して[保存]をクリックする。

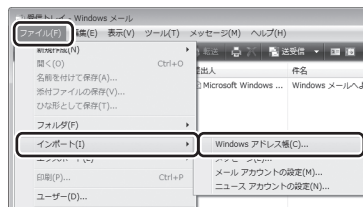
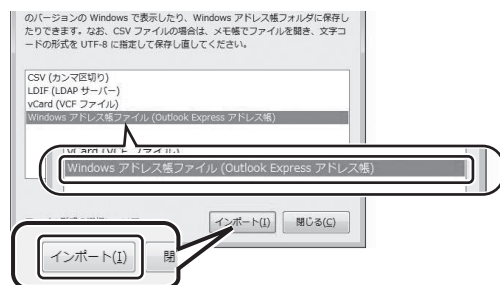
5 [OK]をクリックする。

### ●Outlook Express 6のアドレス帳を取り込む

Windows XPのパソコンでバックアップしたデータを本機のWindows メールに取り込みます。

1 バックアップしたアドレス帳のデータが保存されているSDメモリーカードなどを本機に接続する。

2 (スタート)-[電子メール]をクリックする。

3 [ファイル]-[インポート]-[Windows アドレス帳]をクリックする。

4 [Windows アドレス帳ファイル(Outlook Express アドレス帳)]をクリックし、[インポート]をクリックする。

5 アドレス帳のデータのファイルが保存されているフォルダーをクリックし、[開く]をクリックする。

**メモ**

●アドレス帳のデータのファイルを保存したフォルダーや、アドレス帳のデータのファイルが見つからない場合
[コンピュータ]をクリックし、[検索ボックス]にアドレス帳のデータのファイル名を入力してください。画面中央にアドレス帳のデータのファイルが表示されます。

6 アドレス帳のデータのファイルをクリックし、[開く]をクリックする。

7 [OK]をクリックする。

8 [閉じる]をクリックする。
これで設定は完了です。

## メールを作成/送信する

ここでは、メールの作成から送信までの手順を説明します。Windows メールの設定が終わったら、友人にメールを書いてみましょう。

### メール送信時のポイント

メールには使わないほうがよい文字や、メールを送信するうえで知っておくと便利なことがいくつかあります。

#### ● こんな文字は使わないようにしましょう

メールに次のような機種依存文字（特定の環境でのみ表示される文字）を使うと、メールを受け取った相手に正しく表示されず、文字が読めない場合があります。

- 半角カタカナ
- ①（丸付き数字）やⅧ（ローマ数字）などの、特殊な文字や記号
- 半角のカギカッコや句読点

#### ● 作成したメールに機種依存文字が使われている場合

[メッセージの文字セットの競合]画面が表示され、次の選択肢が表示されます。選択してクリックしてください。

- **[Unicodeで送信]**
  Unicodeメッセージとして送信されます。Unicodeとは世界中のほとんどの文字・数字・記号が表示可能な設定です。機種依存文字も正しく表示させることができます。
  ただし、受信する相手のメールソフトによっては、表示されない場合もあります。
- **[そのまま送信]**
  そのまま送信されるため、機種依存文字が正しく表示されない可能性があります。
- **[キャンセル]**
  送信をキャンセルして、書き直すことができます。通常は[キャンセル]を選択し、機種依存文字を使用しないでメールを書き直すことをお勧めします。

#### ● あて先の種類

メールのあて先には、3つの種類があります。

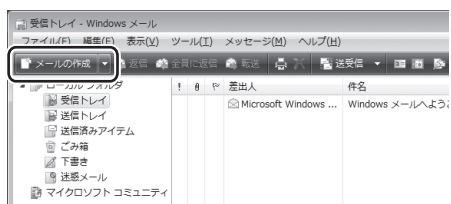
| あて先の種類 | 内容 |
|---|---|
| あて先（To） | メールを送りたい相手のメールアドレスを入力します。 |
| CC | 「CC」にメールアドレスを入力すると、「あて先」に入力した相手と同じメールが送信されます。「メールとは直接関係ないが、内容は知っておいてほしい」など、参考としてメールを送る場合に使います。「CC」はカーボンコピー（Carbon Copy）の略語です。 |
| BCC | 基本的には「CC」と同じですが、「BCC」に入力されたメールアドレスは、メールの受信者が確認できません。「内容は知っておいてほしいが、メールを送ったことを他の受信者に知らせたくない」など、メールの受信者をわからないようにする必要がある場合に使います。「BCC」はブラインドカーボンコピー（Blind Carbon Copy）の略語です。 |

#### ● 件名にメールの内容が推測できるものを入力する

メールの件名には、メールの本文で伝えるべき用件や結論が推測できるものを書きましょう。メールを受け取った人にメールの重要性や内容、今すぐ見てほしいことや後回しでも大丈夫なことなどを伝えることができます。

### メールを新規作成/送信する

ここではメールの作成、送信方法を説明します。また、メッセージを送るだけでなく、デジタルカメラで撮影した画像や、他のアプリケーションソフトで作成した文書などを添付して送ることができます。

**1** [メールの作成]をクリックする。

**2** **あて先に送りたい相手のメールアドレス(半角)を入力し、件名と本文を入力する。**
同じ内容のメールを複数のあて先に送るときは、メールアドレスの末尾に , (半角のカンマ)を付け、続けてメールアドレスを入力します。

- **BCCにメールアドレスを入力する場合**
  [表示]-[すべてのヘッダー]をクリックすると、BCCの入力欄が表示されます。
- **画像や文書などのファイルを送る場合**
  ①（メッセージにファイルを添付）をクリックする。
  ②添付するファイルをクリックし、[開く]をクリックする。
  添付できるファイルの容量は、プロバイダーによって異なります。詳しくは、ご利用のプロバイダーにお問い合わせください。

**3** **[送信]をクリックする。**
[ファイル]-[後で送信する]をクリックして、後でまとめて送信することもできます。

**メモ**

● **電話回線やISDN、携帯電話などで回線に接続している場合**

- [送信]や[すべて送信]をクリックすると、「ダイヤルアップ接続」画面などが表示される場合があります。
  **「ダイヤルアップ接続」画面が表示された場合：**
  [接続]をクリックし、必要な項目を入力して[ダイヤル]をクリックしてください。
  **「[送受信]コマンドを実行するまで、[送信トレイ]に置かれます」という画面が表示された場合：**
  [OK]をクリックし、[送受信]の右にある[▼]をクリックして[すべて送信]をクリックしてください。
  **「オフラインで作業しています。オンラインに切り替えますか？」という画面が表示された場合：**
  [はい]をクリックし、画面に従って操作してください。

  メール送信後、（スタート）-[接続先]をクリックして切断してください。

- **インターネットに接続中は、接続料金がかかります。**
  メールの送信後はすぐに回線を切断することをお勧めします。
  また、複数のメールを送る場合は、まとめて送信することをお勧めします。

## 届いたメールに返信を書く

届いたメールに対して回答や返事を送るときは「返信」を使います。

**1** **返信を書くメールをクリックし、[返信]をクリックする。**
あて先やCCに入力されているメールアドレス全員に返信したい場合は[全員に返信]をクリックしてください。

**2** **件名と本文を入力する。**
件名には、届いたメールのタイトルが自動的に入力されます。

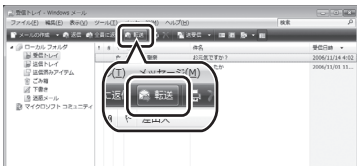
- **画像や文書などのファイルを送る場合**
  ①（メッセージにファイルを添付）をクリックする。
  ②添付するファイルをクリックし、[開く]をクリックする。
  添付できるファイルの容量は、プロバイダーによって異なります。詳しくは、ご利用のプロバイダーにお問い合わせください。

**3** **[送信]をクリックする。**
[ファイル]-[後で送信する]をクリックして、後でまとめて送信することもできます。

● **電話回線やISDN、携帯電話などで回線に接続している場合は、左記の「メモ」をご覧ください。**

## 届いたメールを第三者に転送する

自分あてに届いたメールを第三者に送るときは、「転送」を使います。
メールを転送するときには、あらかじめ差出人から転送の許可を得ておくとよいでしょう。ごく親しい人たちの間であれば問題ないでしょうが、元のメールの差出人がまったく予期しない人にメールが届いてトラブルが起こる可能性も考えられます。

**1** 転送するメールをクリックし、[転送]をクリックする。

**2** あて先と本文を入力する。

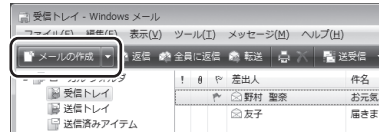
- **画像や文書などのファイルを送る場合**
  ①（メッセージにファイルを添付）をクリックする。
  ②添付するファイルをクリックし、[開く]をクリックする。
  添付できるファイルの容量は、プロバイダーによって異なります。詳しくは、ご利用のプロバイダーにお問い合わせください。

**3** [送信]をクリックする。
[ファイル]-[後で送信する]をクリックして、後でまとめて送信することもできます。

● 電話回線やISDN、携帯電話などで回線に接続している場合は、30ページの「メモ」をご覧ください。

## メールをまとめて送信する

ダイヤルアップ接続のときなど、メールを1通ごとに送信すると、その都度電話回線に接続してしまいます。このような場合は、メールを書きためておき、まとめて送信することができます。

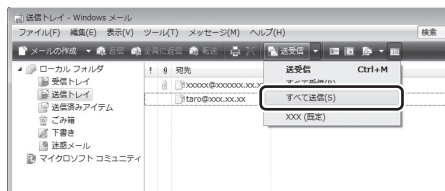
**1** [メールの作成]をクリックする。

**2** あて先に送りたい相手のメールアドレス(半角)を入力し、件名と本文を入力する。
同じ内容のメールを複数のあて先に送るときは、メールアドレスの末尾に ; (半角のカンマ)を付け、続けてメールアドレスを入力します。

**3** [ファイル]-[後で送信する]をクリックする。

**4** [OK]をクリックする。
[今後、このメッセージを表示しない]にチェックマークを付けると、次回からこの手順は不要です。

**5** 作成するメールの数だけ、手順1～4を繰り返す。

**6** [送受信]の右にある[▼]をクリックする。

**7** [すべて送信]をクリックする。

● 電話回線やISDN、携帯電話などで回線に接続している場合は、30ページの「メモ」をご覧ください。

## メールを受信する/読む

自分あてにメールが届いているかどうか、確認してみましょう。

メールサーバーからメールを受信するには、手動で受信する方法と自動的にメールを受信する方法があります。

### 手動でメールを受信する

**1** [送受信]の右にある[▼]をクリックする。

**2** [すべて受信]をクリックする。

送信も受信もまとめて行うときは、[送受信]をクリックします。

**メモ**

● **電話回線やISDN、携帯電話などで回線に接続している場合**

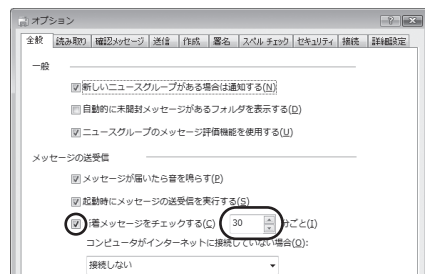
- [すべて受信]をクリックすると、「オフラインで作業しています。オンラインに切り替えますか?」という画面が表示される場合があります。
  表示された場合は、[はい]をクリックし、画面に従って操作してください。
  メール受信後、(スタート)-[接続先]をクリックして切断してください。
- **インターネットに接続中は、接続料金がかかります。**
  メールの受信後はすぐに回線を切断することをお勧めします。

### 自動でメールを受信する

Windows メールでは、標準で定期的にメールを受信するように設定されています。ここでは、自動的にメールを受信する時間の変更方法を説明します。

**1** [ツール]-[オプション]をクリックする。

**2** [新着メッセージをチェックする]にチェックマークを付け、[▲]または[▼]をクリックして、定期的にメールを受信する時間を変更する。

1分〜480分までの範囲で設定できます。時間を直接入力することもできます。

**3** [OK]をクリックする。

### メールを読む

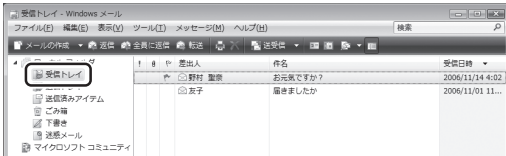
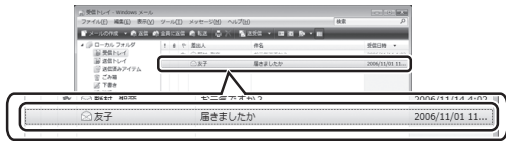
**1** [受信トレイ]をクリックする。

**2** 読むメールをダブルクリックする。

## ●HTML形式のメールを表示する場合

**重 要**

●HTML形式でメールが届いた場合は、メールの差出人が信頼できる相手であることを必ず確認してください。
以降の手順は、メールの差出人が信頼できる場合のみ行ってください。

**1** [受信トレイ]をクリックする。

**2** 読むメールをダブルクリックする。

**3** [表示]-[HTML形式のメッセージ]をクリックする。

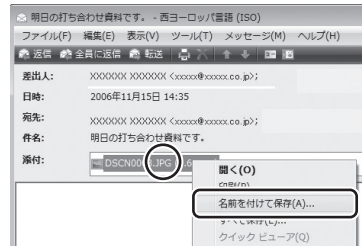
## メールに添付されているファイルを保存する/開く

受信したメールに画像や文書などが添付されていた場合、ファイルをパソコンに保存したり開いたりすることができます。

**重 要**

●添付ファイルの中には、ウイルスなどパソコンに被害を及ぼすファイルがあります。
ファイルを開く前に、ウイルス対策ソフトでチェックを行うことをお勧めします。

**1** が表示されているメールをダブルクリックする。

**2** [添付]に表示されているファイル上で右クリックし、[名前を付けて保存]をクリックする。

**3** [フォルダの参照]が表示されている場合は、[フォルダの参照]をクリックする。

**4** ファイルを保存するフォルダーをクリックし、[開く]をクリックする。

**5** ファイル名を入力し、[保存]をクリックする。

選択したフォルダーに添付ファイルが保存されます。

**メ モ**

●手順2で[開く]をクリックすると、添付されているファイルが開きます。
添付ファイルを開くには、ファイルに対応しているアプリケーションソフトが必要です。
どのアプリケーションソフトが必要なのか、差出人に確認してください。

## 迷惑メール対策をする

メールを使っていると、まったく身に覚えのない宣伝や広告のメールが届いたり、金銭を要求するメールが届いたりすることがあります。これらは一般に「迷惑メール」と呼ばれ、「ワンクリック詐欺」などメールの受信者に損害を与える場合があります。

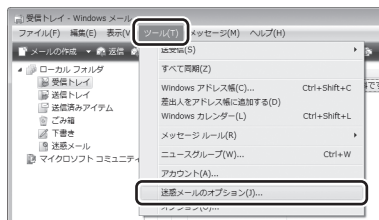
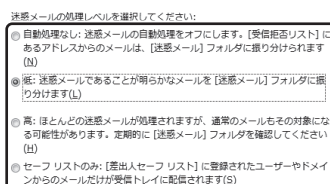
### 迷惑メールの種類

- **スパムメール**
  一方的に送りつけられる営利目的などのメールの呼び名です。アダルトサイトや出会い系サイトのURL、商品などの勧誘や宣伝が書かれています。
- **フィッシングメール**
  あたかも正規の金融機関やクレジットカード会社を装い、キャッシュカードやクレジットカードの番号や暗証番号などの個人情報を要求してくるメールの呼び名です。メールには暗証番号などの個人情報の入力を求める文章と、偽のWebページのURLが書かれています。Webページ上で個人情報を入力する画面が表示され、入力すると悪意のある第三者に個人情報が送信されてしまいます。
  中には、メールに書かれているWebページのURLをクリックするだけで契約したことにされ、料金の支払いを求められる「ワンクリック詐欺」などのメールもあります。

### 迷惑メールである可能性が高いメールを自動的に振り分ける

Windows メールでは、迷惑メールの処理レベルを変更することで、迷惑メールと思われるメールを自動的に「迷惑メール」フォルダーへ移動することができます（工場出荷時は迷惑メールの処理レベルが［低］に設定されています）。

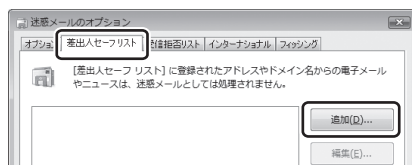
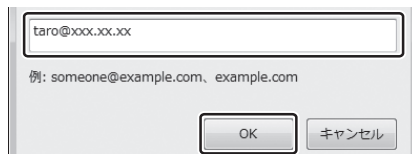
#### ● 迷惑メールの処理レベルを変更する

**1** ［ツール］-［迷惑メールのオプション］をクリックする。

**2** 迷惑メールの処理レベルを、［自動処理なし］、［低］、［高］、［セーフリストのみ］の中から選択する。

**3** ［OK］をクリックする。

#### ● 特定のメールアドレスから届いたメールを常に安全なメールとして処理する

迷惑メールの処理レベルを［高］に設定すると、友人などから送られてきたメールも迷惑メールとして処理されてしまう場合があります。迷惑メールとして処理したくないメールアドレスを［差出人セーフリスト］に登録することをお勧めします。

**1** ［ツール］-［迷惑メールのオプション］をクリックする。

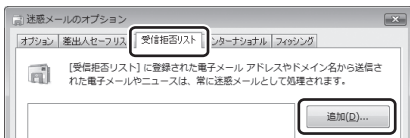
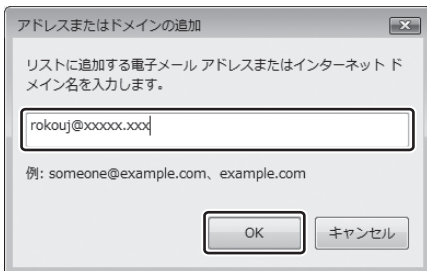
**2** ［差出人セーフリスト］-［追加］をクリックする。

**3** 迷惑メールとして処理したくないメールアドレスを入力し、［OK］をクリックする。

メールを送信する相手のメールアドレスを自動的に［差出人セーフリスト］に追加したい場合は、［電子メールの送信先を自動的に［差出人セーフリスト］に追加する］をクリックしてチェックマークを付けてください。

**4** ［OK］をクリックする。

### ●特定のメールアドレスから届いたメールを常に迷惑メールとして処理する

何度も迷惑メールを送ってくる差出人に対しては、メールアドレスを[受信拒否リスト]に登録して、自動的に「迷惑メール」フォルダーに移動させることができます。

**1** [ツール]-[迷惑メールのオプション]をクリックする。

**2** [受信拒否リスト]-[追加]をクリックする。

**3** 迷惑メールとして処理したいメールアドレスを入力し、[OK]をクリックする。

**4** [OK]をクリックする。

## アドレス帳（Windows アドレス帳）を使う

頻繁にメールをやり取りする人をWindows アドレス帳（以降アドレス帳と表記）に登録しておけば、メールを作成するたびに相手のメールアドレスを入力する手間が省けます。また、メールアドレスの入力間違いを防ぐこともできます。

### アドレス帳にメールアドレスを登録する

メールアドレスをアドレス帳に登録するには、自分でメールアドレスを入力する方法と、受信したメールのメールアドレスを登録する方法の2つがあります。

### ●自分でメールアドレスを入力して登録する

**1** （アドレス帳）をクリックする。

（アドレス帳）が表示されていない場合は、[ツール]-[Windows アドレス帳]をクリックしてください。

**2** [新しい連絡先]をクリックする。

**3** 相手の名前や表示名、メールアドレスなどを入力し、[OK] をクリックする。

[表示名] は必ず入力してください。入力しない場合は、アドレス帳に登録することができません。
[表示名] に入力された名前がアドレス帳に表示されます。

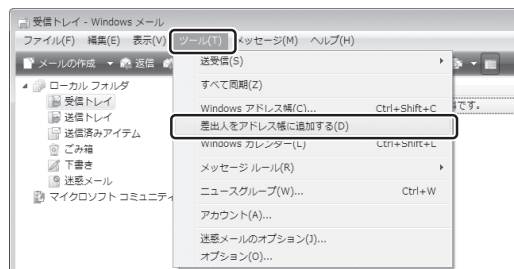
**4** 他にも登録する場合は、手順２～３を繰り返す。

**5** をクリックする。

## ● 受信したメールから送信者のメールアドレスを登録する

**1** 届いたメールをクリックする。

**2** [ツール]-[差出人をアドレス帳に追加する] をクリックする。

差出人がアドレス帳に登録されます。直接入力するより間違いがなく簡単です。

## アドレス帳を編集する

## ● 登録したメールアドレスなどを修正する

メールアドレスを間違った内容で登録してしまった場合や、登録した人のメールアドレスが変わった場合は登録内容を修正することができます。

**1** （アドレス帳）をクリックする。

（アドレス帳）が表示されていない場合は、[ツール]-[Windows アドレス帳] をクリックしてください。

**2** 修正したい表示名を右クリックし、[開く] をクリックする。

**3** 入力されている相手の名前や表示名、メールアドレスなどを削除し、再度入力する。

[表示名] は必ず入力してください。入力しない場合は、アドレス帳に登録することができません。

**4** [OK] をクリックする。

**5** 他のメールアドレスなども編集する場合は、手順２～４を繰り返す。

**6** をクリックし、ウィンドウを閉じる。

## ●アドレス帳からメールアドレスを削除する

不要なメールアドレスなどを削除することができます。

**1** （アドレス帳）をクリックする。

（アドレス帳）が表示されていない場合は、[ツール]-[Windows アドレス帳]をクリックしてください。

**2** 削除するメールアドレスを右クリックし、[削除]をクリックする。

**3** [はい]をクリックする。

**4** 複数のメールアドレスを削除する場合は、手順2～3を繰り返す。

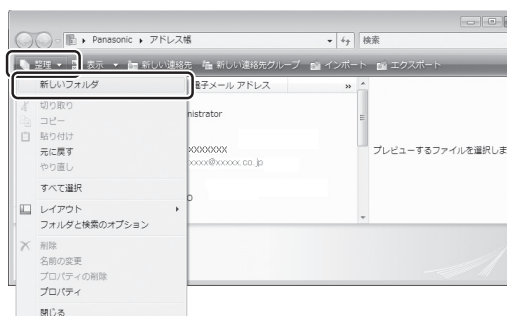
**5** をクリックする。

## ●アドレス帳を整理する

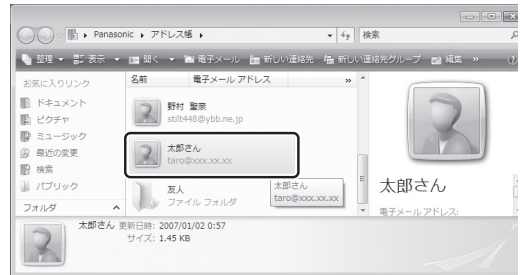
登録したメールアドレスが増えてくると、探しにくくなります。フォルダーを作成して整理することをお勧めします。
ここでは、フォルダーを作成してアドレス帳を整理する方法を説明します。

**1** （アドレス帳）をクリックする。

（アドレス帳）が表示されていない場合は、[ツール]-[Windows アドレス帳]をクリックしてください。

**2** 整理 -[新しいフォルダ]をクリックする。

**3** フォルダー名を入力し、Enterを押す。

**4** 移動するメールアドレスをクリックし、手順3で作成したフォルダーにドラッグする。

Ctrlを押しながらクリックすると、複数のメールアドレスを選択できます。

**5** 他にもフォルダーの作成や整理をする場合は、手順2～4を繰り返す。

**6** をクリックする。

## アドレス帳のメールアドレスを検索する

登録したメールアドレスは、キーワードを入力することで検索できます。

**1** （アドレス帳）をクリックする。

（アドレス帳）が表示されていない場合は、[ツール]-[Windows アドレス帳]をクリックしてください。

**2** [検索ボックス]にメールアドレスまたは名前を入力する。

検索が始まります。メールアドレスや名前の一部を入力するだけでも検索できます。

メールアドレスが見つからない場合は、[高度な検索]をクリックし、詳細を入力して[検索]をクリックしてください。

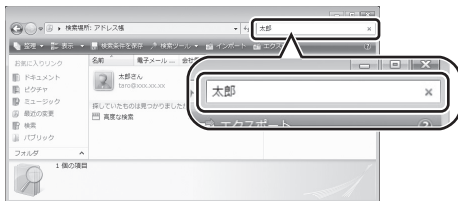
## アドレス帳から直接メールを作成する

アドレス帳からあて先を選び、そのままメールを作成することができます。

**1** （アドレス帳）をクリックする。

（アドレス帳）が表示されていない場合は、[ツール]-[Windows アドレス帳]をクリックしてください。

**2** [検索ボックス]にメールアドレスまたは名前を入力する。

検索が始まります。メールアドレスや名前の一部を入力するだけでも検索できます。

**3** 表示されたメールアドレスをクリックし、[電子メール]をクリックする。

**4** メールを作成する。

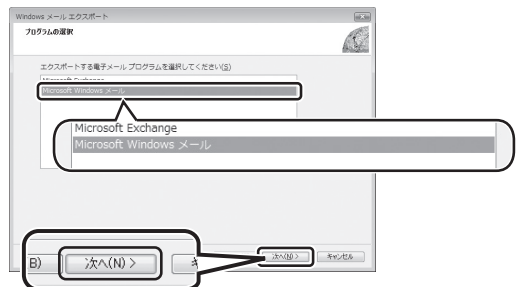
## メールをバックアップ/復元する

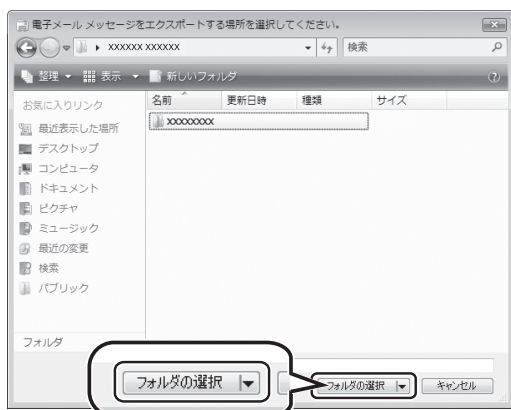
再インストール(リカバリー)を行うと、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ってしまいます。メールをバックアップしておくと、再インストールしてもメールを再インストール前の状態に戻すことができます。

### Windows メールをバックアップする

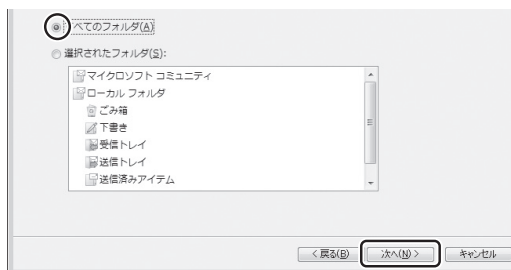
**1** （スタート）-[電子メール]をクリックする。

**2** [ファイル]-[エクスポート]-[メッセージ]をクリックする。

**3** [Microsoft Windows メール]をクリックし、[次へ]をクリックする。

**4** [参照]をクリックする。

**5** メールを保存したいフォルダーをクリックし、[フォルダの選択]をクリックする。

フォルダーが見つからない場合は、[コンピュータ]をクリックして、[検索ボックス]にフォルダー名を入力してください。画面中央にフォルダーが表示されます。

**6** [次へ]をクリックする。

**7** [すべてのフォルダ]をクリックし、[次へ]をクリックする。

**8** [完了]をクリックする。
手順5で選択したフォルダーの中に「Local Folders」フォルダーと「マイクロソフト コミュニティ」フォルダーが作成され、「Local Folders」フォルダー内にメールがバックアップされます。

**9** 手順5で選択したフォルダーをSD/SDHCメモリーカードなどにコピーする。
データの容量に合った外部メディアにコピーしてください。

これでメールのバックアップは完了です。

## Windows メールを復元する

**メモ**

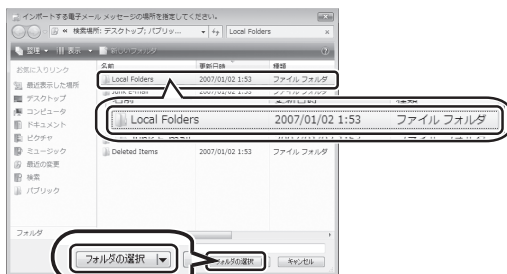
● CD/DVDなどにバックアップを取っている場合は、[読み取り専用]のチェックマークを外してください。（➡21ページ）

**1** （スタート）-[電子メール]をクリックする。

**2** [ファイル]-[インポート]-[メッセージ]をクリックする。

**3** [Microsoft Windows メール 7]をクリックし、[次へ]をクリックする。

**4** [参照]をクリックする。

**5** [Local Folders] をクリックし、[フォルダの選択] をクリックする。

[Local Folders] が見つからない場合は、[コンピュータ] をクリックして、[検索ボックス] に「Local Folders」と入力してください。画面中央に「Local Folders」が表示されます。

**6** [次へ] をクリックする。

**7** [すべてのフォルダ] または [選択されたフォルダ] をクリックし、[次へ] をクリックする。

- **[すべてのフォルダ]**
  バックアップしたメールをすべて復元します。
- **[選択されたフォルダ]**
  Windows メールで復元したいメールを手動で選択します。
  復元したいバックアップデータのフォルダーをクリックし、選択してください。
  Ctrl を押しながらクリックすると、複数のフォルダーを選択できます。

**8** [完了] をクリックする。
これで設定は完了です。

### 他のパソコンから Outlook Express 6 のメールを取り込む

Outlook Express 6 のメールを Windows メールに取り込むことができます。方法は、「Outlook Express 6 のメールを取り込む」をご覧ください。(➡26ページ)

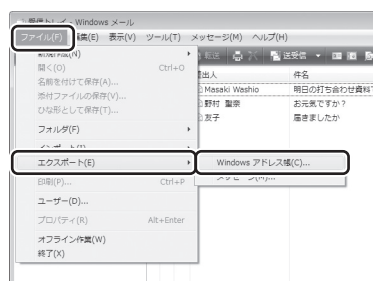
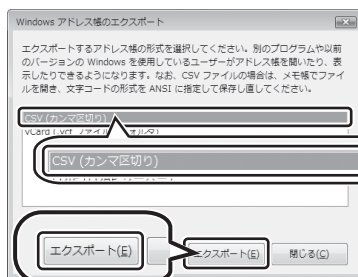
## アドレス帳をバックアップ / 復元する

再インストール（リカバリー）を行うと、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ってしまいます。 Windows メールのアドレス帳をバックアップしておくと、再インストールしてもアドレス帳を再インストール前の状態に戻すことができます。

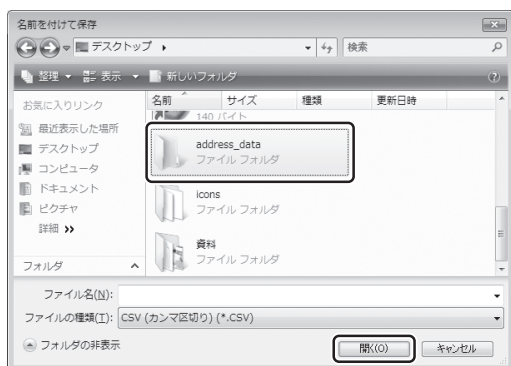
### アドレス帳をバックアップする

ここではアドレス帳のバックアップ手順を説明します。

**1** （スタート）-[電子メール] をクリックする。

**2** [ファイル]-[エクスポート]-[Windows アドレス帳] をクリックする。

**3** [CSV（カンマ区切り）] をクリックし、[エクスポート] をクリックする。

**4** [参照] をクリックする。

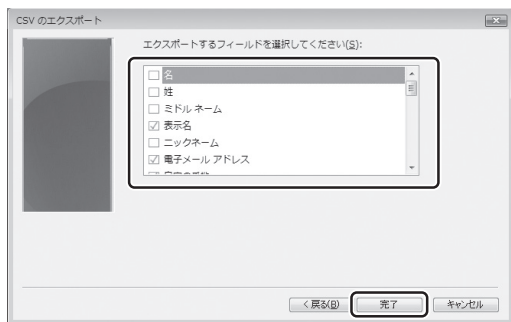
**5** [フォルダの参照] が表示されている場合は、[フォルダの参照] をクリックする。

**6** アドレス帳のデータを保存したいフォルダーをクリックし、[開く]をクリックする。

フォルダーが見つからない場合は、[コンピュータ]をクリックして[検索ボックス]にフォルダー名を入力してください。
画面中央にフォルダーが表示されます。

**7** ファイル名を入力し、[保存]をクリックする。

ファイル名は自由に入力できます。

**8** [次へ]をクリックする。

**9** バックアップしたい項目をクリックしてチェックマークを付け、[完了]をクリックする。

**10** [OK]をクリックする。

**11** [閉じる]をクリックする。

**12** 手順7で保存したアドレス帳のデータを、SD/SDHCメモリーカードなどにコピーする。

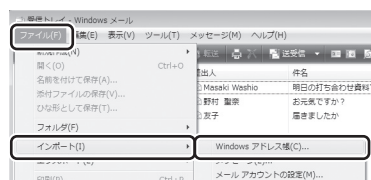
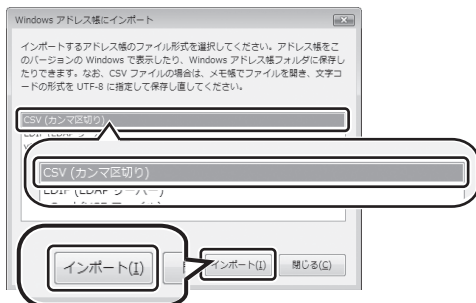
データの容量に合った外部メディアにコピーしてください。

## アドレス帳を復元する

ここではバックアップしたアドレス帳の復元手順を説明します。

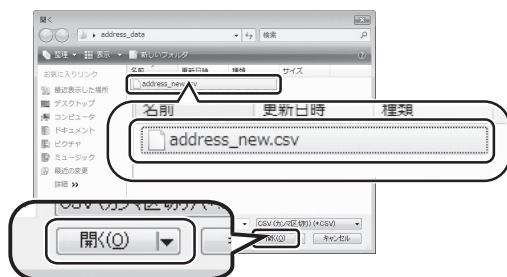
● CD/DVDなどにバックアップを取っている場合は、[読み取り専用]のチェックマークを外してください。(➡21ページ)

**1** (スタート) -[電子メール]をクリックする。

**2** [ファイル]-[インポート]-[Windowsアドレス帳]をクリックする。

**3** [CSV(カンマ区切り)]をクリックし、[インポート]をクリックする。

**4** [参照]をクリックする。

**5** アドレス帳のデータが保存されているフォルダーをクリックし、[開く]をクリックする。

アドレス帳のデータのファイルを保存したフォルダーや、アドレス帳のデータのファイルが見つからない場合は、[コンピュータ]をクリックし、[検索ボックス]にアドレス帳のデータのファイル名を入力してください。
画面中央にアドレス帳のデータのファイルが表示されます。

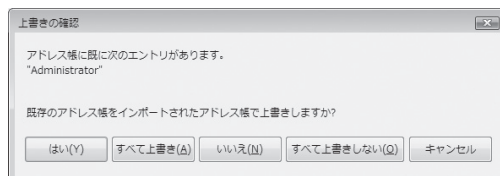
**6** アドレス帳のデータファイルをクリックし、[開く]をクリックする。

**7** 「CSVのインポート」画面で、[次へ]をクリックする。

**8** [完了]をクリックする。

復元する項目を変更したい場合は、チェックマークをクリックして変更してください。

「アドレス帳は、以前の場所および形式から、Windows アドレス帳フォルダにインポートされました」という画面が表示されたら、アドレス帳の復元は完了です。

**メモ**

● **「上書きの確認」画面が表示された場合**
復元しようとしているデータの中に、アドレス帳に登録されているものと同じメールアドレスがある場合は「上書きの確認」画面が表示されます。

- **[はい]をクリックした場合**
  登録されている内容が、復元するデータのアドレスなどに1件ずつ上書きされます。上書きしたくないアドレスなどがある場合は、こちらを選択してください。
- **[すべて上書き]をクリックした場合**
  登録されている内容が、すべて復元するデータのアドレスに上書きされます。
- **[いいえ]をクリックした場合**
  登録されている内容を1件ずつ残します。復元するデータのアドレスなどに上書きされません。上書きしたくないアドレスなどがある場合は、こちらを選択します。
- **[すべて上書きしない]をクリックした場合**
  登録されている内容をすべて残します。復元するデータのアドレスなどに上書きされません。

**9** [閉じる]をクリックする。

## 他のパソコンからOutlook Express 6のアドレス帳を取り込む

Outlook Express 6のデータをWindows メールに取り込むことができます。「Outlook Express 6のメールを取り込む」をご覧ください。(➡26ページ)

## Windows メールのヘルプを見る

Windows メールの詳しい使い方については、Windows メールのヘルプをご覧ください。

**1** （スタート）-[電子メール] をクリックする。

**2** [ヘルプ]-[ヘルプの表示] をクリックする。

**3** 見たい項目をクリックする。

検索ボックスに見たい内容のキーワードを入力し Enter を押すと、項目を検索することもできます。